

令和 3 年度 事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

目 次

令和3年度事業の主な成果指標	P 1
令和3年度事業報告	P 5
1 【知る】情報発信	
1 広報事業	《市受託、県補助、8市町負担金、財団自主》 P 5
2 【解く】相談・コンシェルジュ	
2 相談事業（専門家派遣事業含む）	《市受託》 P 8
3 企業訪問事業	《市受託》 P 9
4 研究会推進事業	《事務局受託》 P 11
3 【興す】創業・新事業展開支援	
5 創業・新事業展開支援事業	《財団自主》 P 14
6 債務保証事業	《財団自主》 P 17
4 【活かす】知財総合支援	
7 知的財産活用推進事業	《市受託》 P 18
8 はままつ知財研究会連携事業	《事務局受託》 P 20
9 特許等出願支援補助事業	《市受託》 P 23
5 【学ぶ】人材育成支援	
10 製造中核人材育成事業	《県補助、8市町負担金》 P 27
11 現場力向上人材育成事業	《県補助、8市町負担金》 P 28
12 新規事業育成事業	《県補助、8市町負担金》 P 31
6 【創る】新事業開発支援	
13 新産業創出支援事業	《市受託》 P 33
14 競争的資金活用支援事業	《県補助、8市町負担金、国補助》 P 39
15 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業	《財団自主》 P 41
16 地域産業活性化支援事業	《財団自主》 P 42
17 フォトンバレーセンター事業	《県・8市町負担金、A-SAP》 P 44
18 次世代自動車センター事業	
《県・浜松市負担金、財団自主、会員会費、国補助、県委託》	P 58

7 【拓く】販路開拓支援

19	ものづくり販路開拓支援事業	《市受託》	P 66
20	マッチング支援事業	《財団自主、市受託》	P 69
21	海外ビジネス展開支援事業	《市受託》	P 73

令和 3 年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
製品化・事業化件数	43 件	51 件	30 件

※1：令和 3 年 3 月末日時点、※2：令和 4 年 3 月末日時点（以下、同じ）

◎事業別成果指標

1 広報事業・・・P5

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
ホームページアクセス件数	60,947 件	53,365 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	1,489 件	1,618 件	1,500 件

2 相談事業・・・P8

（相談・・・P8）

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
相談件数（経営・技術・知財総件数）	2,635 件	2,751 件	2,100 件
経営相談件数	579 件	593 件	
技術相談件数	1,222 件	1,230 件	
知財相談件数	834 件	928 件	

（専門家派遣事業・・・P9）

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
支援企業数	22 社	21 社	18 社

3 企業訪問事業・・・P9

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
訪問企業数 ※延べ件数	1,317 件	1,106 件	1,000 件
新規訪問企業数	159 社	251 社	200 社

4 創業・新事業展開事業・・・P14 ※はままつ起業家カフェ実績

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
相談件数	1,209 件	1,285 件	800 件
起業者件数	135 件	108 件	50 件

5 知的財産活用推進事業・・・P18

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
相談件数 ※3	834 件	928 件	700 件
訪問企業数	53 件	19 件	90 件

※3：静岡県発明協会の知財総合支援担当による相談件数を含む

6 特許等出願支援補助事業・・・P23

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
特許出願件数（国内）	15 件	15 件	10 件

項目	令和2年度※1	令和3年度※2	
特許出願総数（国内）※3	80 件	94 件	
特許出願登録件数（国内）※3	38 件	49 件	

※3：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成25年度からの累計

7 人材育成事業・・・P27

（製造中核人材育成事業・・・P27）

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
「製造中核人材育成ミニ講座」企業訪問数※3	—	3 社	—
「製造中核人材育成ミニ講座」受講者数※3	—	53 名	—
「製造中核人材マネジメント講座」受講者数※3	—	9 名	—
「製造中核人材マネジメント講座」受講者満足度※3	—	100%	—

※3：新型コロナウイルス感染症の影響における代替事業

（現場力向上人材育成事業・・・P28）

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
現場改善実践企業数	5 社	3 社	5 社
「現場改善推進スクール」受講者数	20 名	11 名	20 名
「現場改善推進スクール」受講者満足度	100%	100%	90%以上

（新規事業育成事業・・・P31）

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	5 件	1 件	5 件
製品化・商品化件数	2 件	0 件	2 件

8 新産業創出支援事業・・・P33

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
スマートものづくり支援デスク相談件数	37 社	61 社	50 社
新規プロジェクト立上げ件数	1 件	2 件	1 件以上
技術連携マッチング件数	9 件	10 件	5 件
産業用ロボット・IoT 導入企業数	0 社	4 社	3 社
企業訪問数 ※延べ件数	85 社	90 社	100 社

9 競争的資金活用支援事業・・・P39

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
研究開発型補助金申請件数※3	2 社	3 社	3 社

※3：国等の研究開発関連補助金（サポイン事業等）

10 ものづくり販路開拓支援事業（展示商談会出展補助金）・・・P66

項目		実績		指標
		令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
国内	出展企業数	21 社	24 社	50 社
	商談成立件数	10 件	47 件	50 件
海外	出展企業数	1 社	6 社	10 社
	商談成立件数	0 件	0 件	10 件

11 マッチング支援事業・・・P69

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
「新技術・新工法展示商談会※3」商談成立件数	1 社	1 社	5 社
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	3 件	2 件	5 件
マッチング件数	52 件	46 件	1 件

※3：浜松商工会議所連携事業

12 フォトンバレーセンター事業・・・P44

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
相談件数	1,079 件	674 件	1,500 件
地域企業の製品開発件数	6 件	8 件	5 件
「光・電子技術活用補助金※3」採択件数	6 件	7 件	5 件
A-SAP※4申請件数	39 件	24 件	20 件
A-SAP※4採択件数	10 件	10 件	12 件
技術ニーズマッチング社数	12 社	0 社	16 社
商談成立件数	5 件	0 件	5 件

※3：光・電子活用チャレンジ事業費補助金

※4：産学官金連携イノベーション推進事業（第8期～第11期）

13 次世代自動車センター事業・・・P58

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
会員入会企業数	370 社	427 社	— 社
訪問・来訪企業件数 ※延べ件数	272 回	205 回	240 回
＜内訳＞			
・固有技術探索チャート現場指導	19 回	14 回	30 回
・先行企業訪問調査	67 回	47 回	30 回
・技術ニーズマッチング	17 回	16 回	30 回
・試作部品製作委託現場指導	47 回	19 回	50 回
・部品ベンチマークルーム等見学	122 回	109 回	100 回
秘密保持契約締結件数	28 件	29 件	25 件
「固有技術探索活動基礎講座」受講企業数	10 件	19 社	25 社
試作品製作委託契約件数	9 件	7 件	10 件

令和3年度 事業報告

※金額は令和3年度決算額、（ ）内は令和3年度予算額、＜＞内は財源

1【知る】情報発信

1 広報事業

決算額	728,200 円（予算額 1,500 千円）	＜浜松市受託＞
決算額	286,000 円（予算額 800 千円）	＜財団自主＞
決算額	1,477,896 円（予算額 1,653 千円）	＜県補助・8市町負担金＞

【目的】

財団の企業支援情報及び国、県、市などの中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに各種ツールで提供することにより地域企業を支援する。

【年度総括】

令和3年度の広報事業では、年度当初に「財団支援施策ガイド」を発行し、企業訪問等の際に財団事業説明ツールとして活用した。また、メールマガジンで財団事業のほか、関係団体の支援情報等を積極的に発信したり、浜松商工会議所の広報媒体を活用したりと、支援情報の知名度向上に努めた。感染が拡大した新型コロナウイルス関連では、「新型コロナウイルス感染症関連情報」のバナーを情報別に整理するなど、財団HPのリニューアルにより、利便性の向上を図った。

令和4年度も引き続き、財団事業のほか関係団体の支援情報等をわかりやすく発信し、各種施策が多くの地域企業に活用されるよう、適切かつ積極的な広報活動を実施する。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信した。紙媒体ツールとしては、支援施策ガイドなどを作成した。

ア メールマガジンの配信 ＜広域事業＞

配信日：毎月第1・第3水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニューなど

イ 財団紹介パンフレットの発行（年度更新）

発行日：令和4年3月 ※令和4年度版

部 数：500部

規 格：A4サイズ、4頁

内 容：財団の業務全般、概要、組織図など

ウ 支援施策ガイドの発行

＜浜松版＞

発行日：令和3年4月

部 数：2,500部

規 格：A4 サイズ、32 頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

< 県西部広域版 >

発行日：令和 3 年 4 月

部 数：2,500 部＋800 部（6 月増刷）

規 格：A4 サイズ、20 頁

内 容：財団、経済産業省、県西部 7 市町など（浜松市除く）の支援施策及び
成果事例

配 布：県西部 7 市町の製造業者（約 560 社）へ発送

エ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（4 月号）

発行日：令和 3 年 4 月 1 日（木）

部 数：15,000 部

規 格：本文中ページ（表 2 対向）

内 容：令和 3 年度の財団補助金（特許、展示会、海外 FS、新事業挑戦）紹介

オ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（6 月号）

発行日：令和 3 年 6 月 1 日（火）

部 数：15,000 部

規 格：表 2、本文中ページ（見開き 2 頁）

内 容：財団コーディネーター無料相談、企業間マッチングサポート、スマー
トものづくり支援デスクの紹介

カ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

ホームページへのアクセス分析を行い、その結果に基づきホームページの掲
載内容の充実やメルマガにおける配信登録先の情報管理など、システム改修を
通じて、迅速で適切な情報提供に取り組んだ。

< 新型コロナウイルス感染症に対する情報発信 > ※随時更新

①各種支援施策（相談窓口・補助金等）

HP 掲載：令和 2 年 4 月 7 日（火）～継続中

・ 国、県、市などの支援施策の紹介

②地域企業の取組事例（感染症対策・新製品開発）

HP 掲載：令和 2 年 6 月 9 日（火）～継続中

・ 感染症対策ガイドライン：1 件

・ 地域企業の感染症対策の紹介：5 社

・ 地域企業の新製品開発の紹介：10 社

③業種別感染拡大予防ガイドラインについて

HP 掲載：令和 3 年 11 月 15 日（月）～継続中

・ 各業界団体が策定した感染症対策ガイドラインの紹介

キ パブリシティ展開

財団施策メニューや地域企業の新たな取り組み等を報道各社へ投込みし、パ
ブリシティの獲得に向け積極的に対応した。

(2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（帝国データバンクの企業情報と当財団コーディ
ネーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業の
ニーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などを推進した。

また、人材育成事業等の受講者アンケートの実施により、事業運営の改善を図った。アンケートには、事業の内容以外にも、企業の持つニーズ等について記載する欄を設け、マッチング等の要望に応じ、その後の企業訪問等を通して課題の解決を図った。

(3) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の7つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局として、中小企業支援等の相互の情報共有や事業連携を推進した。

[参加団体] 浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独)中小企業基盤整備機構関東本部浜松イノベーションキューブ
(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター (JETRO 浜松)

開催日：令和3年5月20日(木)、6月7日(月)、7月9日(金)、10月7日(木)、11月15日(月)、12月9日(木)、令和4年1月13日(木)、2月14日(月)、3月10日(木)

(4) 情報発信

地域を取り巻く経済・社会情勢の変化や対応策等の情報提供を目的に、講演会を開催した。

ア 岸博幸氏講演会

開催日：令和3年12月23日(木)

会 場：グランドホテル浜松

講 師：慶応義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授 岸 博幸 氏

内 容：コロナ後の日本経済のリスク要因と求められる経営戦略の方向性

参加料：無料

参加者：155名(定員：200名、申込：205名)

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
ホームページアクセス件数	60,947件	53,365件	50,000件
メールマガジン配信登録件数	1,489件	1,618件	1,500件

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 3,518,766 円（予算額 3,550 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等が抱える経営、技術、人材、情報、知財等の様々な問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

本事業では、当財団のコーディネーターを中心に経営・技術・知財等、地域企業の各種相談に応じた。令和3年度は知財に関する相談が増加しており、内容としては商標出願に関する相談をはじめ、他社権利問題や著作権問題など、多岐に渡る相談に対応した。また、課題の内容によって専門家を派遣しており、コロナ禍における経営戦略の見直し、競争的資金の活用やデジタルマーケティングでの販路開拓等の支援を実施した。財団としても、専門家からアドバイスを受けた内容を継続して実行できるように、次年度以降もフォローを行い、成果に繋げていく。

【実施内容】

様々な問題を抱える中小企業者等に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じた。また、専門的知識と実務経験を要する相談に対しては、相談内容やニーズに即した有資格者等を専門家アドバイザーとして派遣した。また、企業訪問等で相談のあった地域企業の課題に対して、解決先の個別提案（マッチング）を実施した。さらに、地域企業の技術で対応できる可能性の高い大手企業等のニーズ案件を探索して、地域企業とつなげる販路開拓支援を実施した。

(1) 各種相談

・相談件数

項 目	令和2年度※1	令和3年度※2	対前年比
相談件数（経営・技術・知財総件数）	2,635 件	2,751 件	104.4%
経営相談	579 件	593 件	102.4%
技術相談	1,222 件	1,230 件	100.7%
知財相談	834 件	928 件	111.3%

・主な活動内容件数

項 目	令和2年度※1	令和3年度※2	対前年比
広報	492 件	409 件	83.1%
専門家派遣	139 件	85 件	57.8%
創業・起業	4 件	2 件	50.0%
知的財産（特許・商標等）	834 件	928 件	111.3%
人材育成	125 件	21 件	16.5%
生産性向上・デジタル化	1 件	146 件	—%
研究開発・新事業展開	686 件	573 件	82.4%
競争的資金	1 件	191 件	—%
販路開拓	196 件	101 件	45.3%

(2) 専門家派遣事業

分 野	令和 2 年度※1		令和 3 年度※2	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経 営	16 社	77 回	18 社	85 回
技 術	6 社	33 回	3 社	21 回
知 財	一社	一回	一社	一回
合 計	22 社	110 回	21 社	106 回

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
支援企業数（専門家派遣事業）	22 社	21 社	18 社

※1：令和 3 年 3 月末日時点、※2：令和 4 年 3 月末日時点

3 企業訪問事業

決算額 1,410,931 円（予算額 1,700 千円） <浜松市受託>

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等（以下「中小企業者等」という。）を積極的に訪問し、経営、技術、人材、情報、知財等の課題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、企業の状況・ニーズを把握し、適切な助言や施策の紹介・活用の支援および企業情報の発信支援を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

令和 3 年度は、前年度に引き続き、広く地域中小企業の状況を把握し、課題を掘り起こすため、これまで財団との関りがなかった又は少ない企業について、製造業を中心にリスト化して企業訪問を実施した。訪問先では新型コロナウイルス感染症の影響や製品開発の取組状況等をヒアリングしながら、財団支援メニューの活用等を提案した。また、令和 4 年 2 月にはロシアのウクライナ侵攻が始まり、資源価格の高騰などさらなる影響が見込まれるため、これらについても企業訪問を通して状況の把握に努めている。

令和 4 年度も引き続き企業訪問による地域企業の状況、ニーズ、シーズを把握し、マッチング支援や課題に即応する新規支援メニューの開発につなげていく。

【実施内容】

企業訪問の実施により、企業への御用聞きを行うことで、課題を把握した。また、支援ニーズの聞き取りにより、地域産業の現状が見える化し、施策立案につなげた。財団には、経営・技術・知財とそれぞれの専門分野に詳しいコーディネーターが在籍していることから、企業の課題の内容により、連携して企業訪問を実施した。また、必要に応じて他の産業支援機関や金融機関等とも連携し、企業の課題、ニーズ、技術等を把握することで、各支援施策につなげた。

(1) 「浜松市新産業創出事業費補助金」交付企業に対するアドバイス

「浜松市新産業創出事業費補助金」は、浜松市において戦略的に支援すべきと位置付けている成長 6 分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）について新技術・新製品等

の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助することで事業化の実現を促し、浜松経済を牽引する成長産業の創出につなげていくことを目的としている補助事業である。当財団は、当該補助金に採択された中小企業に対して、研究開発に関する技術的な支援はもとより、事業化された新技術・新製品等の販路開拓まで、浜松市と一体のフォロー体制で支援を行った。

◎令和３年度「浜松市新産業創出事業費補助金」

申請期間：[１次] 令和３年４月９日（金）～５月１０日（月）

[２次] 令和３年７月９日（金）～８月１０日（火）

申請企業数：[１次] 20 社、[２次] 4 社

採択企業数：[１次] 17 社、[２次] 3 社 ※うち、１次で１社中止

交付決定額：[１次] 97,365,810 円（16 社）、[２次] 8,771,050 円（3 社）

交付確定額：[１次] 83,642,538 円（16 社）、[２次] 8,682,420 円（3 社）

<交付企業一覧>

1 次	分野	補助枠	事業者名
1	次世代輸送用機器	製品開発	クリエイティブテクノロジー(株) (浜松市浜北区)
2			(株)双輝 (浜松市南区)
3			(株)ヤマザキ (浜松市東区)
4			橋本エンジニアリング(株) (浜松市浜北区)
5	光・電子	研究開発	(株)ポリシス (浜松市浜北区)
6		製品開発	(株)テイデック (浜松市浜北区) ※中止
7			(株)パパラボ (浜松市中区)
8	環境・エネルギー	製品開発	イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株) (浜松市浜北区)
9	健康・医療	製品開発	(株)システム・ジューピー (浜松市東区)
10			ヨクト(株) (浜松市中区)
11	デジタルネットワーク・コンテンツ	製品開発	ニッコウプロセス(株) (浜松市北区)
12			(株)Hamanako Destination (浜松市中区)
13			(株)モアソングジャパン (浜松市中区)
14			(株)週休３日 (浜松市中区)
15			(株)アスタワン (浜松市東区)
16			(株)はあもにい (浜松市南区)
17		研究開発	(株)ルイ・ヨコタフォート (浜松市浜北区)

2 次	分野	補助枠	事業者名
1	健康・医療	研究開発	(株)創生 (浜松市中区)
2			(株)アメリオ (浜松市西区)
3	デジタルネットワーク・コンテンツ	研究開発	パロアルト(株) (浜松市中区)

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和２年度※1	令和３年度※2	令和３年度
企業訪問件数 ※延べ件数	1,317 件	1,106 件	1,000 件
新規企業数	159 社	251 社	200 社

※1：令和３年３月末日時点、※2：令和４年３月末日時点

4 研究会推進事業

決算額 一円（予算額 一千円）

＜事務局受託＞

※研究会費の2割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、講演会等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【年度総括】

令和3年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研究会事業の一部を中止せざるを得ない状況であった。一方、状況を見ながら感染症対策の実施やWEB会議の活用等、開催方法を工夫し、企業間連携や交流が絶えることの無いように努めた。企業によってコロナ対策のレベル感が異なるため、一律に最適な手法というものはないが、会員企業の状況を把握しながら、引き続き効果的な会となるよう支援を実施していく。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の7つの研究会において、当財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ（会員数：23社、賛助会員数：8社）

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会や情報交換会を中心に活動をしている。

＜総会＞

開催日：令和3年6月10日（木）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

＜事業内容＞

講演会：中止

視察会：中止

定例会：1回、中止4回

イ 浜松技術交流プラザ82（会員数：13社）

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会を中心に活動をしている。

＜総会＞

開催日：令和3年4月20日（火）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

＜事業内容＞

講演会：1回

視察会：中止

ウ 都田アソシエイツ（会員数：53社）

研究開発での産学官金連携を目的として都田テクノポリス地域を中心としたものづくり企業の経営者や研究開発部門の管理者が参加し、講演会や視察研修会を中心に活動をしている。

＜総会＞

開催日：令和3年7月15日（木）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：2回

視察会：3回

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC 研究委員会（会員数：15 社）

ベンチャービジネス、ベンチャーキャピタルの実態及び将来性についての研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会と情報交換会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：令和3年5月28日（金）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：1回

視察会：中止

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：25 社）

ものづくり企業の製造現場を対象としたソフトウェア産業に関する調査、研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会と情報交換会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：令和3年7月28日（水）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：2回

視察会：中止

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人 37 社、個人 19 名）

新しい精密技術に関して基礎となる新しい現象や学問、実際の応用例などを中心として情報交換を行い、関連分野の科学と技術の進歩に資することを目的とし、静岡大学や静岡理工科大学の教員が中心となって、講演会と視察研修会を中心に活動をしている。

<総会>

開催日：令和3年7月30日（金）

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催

<事業内容>

講演会：1回

視察会：1回

オンデマンド講習会：2分野

台湾企業とのビジネス交流会（WEB）

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人 19 社、学校 3 校、名誉 2 名）

製造業の経営層が次世代のデジタル技術を取り入れ、経営戦略に反映及び製造業の設計から製造までのプロセスにおける全体の最適化を図ることを目的に、次世代の設計・製造プロセス最適化と技術系に関する情報交換会（例会）の開催と主にスタートアップや人材育成等をテーマとし、意見交換を行う懇談会等の活動をしている。

<総会>

開催日：令和3年5月10日（月）

※新型コロナウイルス感染症の影響により WEB 開催

<事業内容>

講演会：7回

懇談会：1回

3【興す】創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開支援事業

決算額 6,788,100 円（予算額 6,873 千円） <自主財源>

【目的】

浜松地域の中心産業であるものづくり産業はもとより、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携し、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

【年度総括】

創業支援総合窓口として浜松市・浜松商工会議所と協同で開設した「はままつ起業家カフェ」と連携し、浜松地域の創業希望者のサポートを実施している。コロナ禍ではあったものの、相談件数は前年比増となっており、副業・兼業の解禁などの社会情勢の変化により起業相談をするケースも見られた。起業者の業種としては、サービス業が引き続き多いことに加え、令和3年度は医療・福祉分野での起業件数の伸びが見られた。これは、社会的需要の高まりに加え、介護保険制度の改訂等により起業しやすい環境が整ってきたことが要因と思われる。引き続き、起業者のフォローを実施しながら、起業しやすい環境づくりに努めていく。

【実施内容】

浜松地域の産業基盤である製造業（ソフトウェア業含む）を新たに開業する個人又は開業後5年未満の中小企業者に対して、創業時等に係る経費の一部を助成し、浜松市の産業イノベーション構想につながる製造業が起業しやすい環境を整えるとともに、製造業におけるベンチャー企業の発展につなげた。また、新たに創業した個人や事業者に対して、財団及び起業家カフェ、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）の創業に関する取り組みを連動させ、地域一丸となり、起業家やベンチャー企業のための成長支援を幅広くサポートした。

<はままつ起業家カフェ実績>

(1) 相談事業

- ・相談者数：1,071 名（実数） ※令和2年度実績：900 名
- ・相談件数：1,285 件（延べ数） ※令和2年度実績：1,209 件
- ・新規創業者数：108 名（男性 56 名、女性 52 名） ※令和2年度実績：135 名
※製造業 4 名、建設業 8 名、サービス業 57 名、飲食業 10 名、医療・福祉業 14 名、情報通信業 1 名、卸・小売業 5 名、教育・学習支援 4 名、農林漁業 2 名、不動産業 1 名、運輸業 2 名
- ・特定創業支援事業申請：80 名 ※令和2年度実績：91 名
- ・事業承継相談者数：12 名（実数） ※令和2年度実績：14 名

(2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（市予算：1,500 千円）

目 的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：令和3年4月1日（木）～令和4年3月10日（木） ※随時

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 750 千円

対象経費：補助事業のために使用される単価 30 万円以上の機械装置、工具器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など

申請件数：3 件

採択件数：3 件

交付決定額：1,372,375 円

交付確定額：1,372,375 円

イ 会社設立支援補助金（市予算：2,200 千円）

目 的：初めて会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立する際に、会社設立までに要する経費の一部を助成

受付期間：会社設立登記完了後 60 日以内か令和 4 年 3 月 31 日（木）のどちらか早い日まで

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 100 千円

対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など

申請件数：35 件

採択件数：35 件

交付決定額：2,986,939 円

交付確定額：2,986,939 円

ウ 新規創業者向け ICT 活用販路開拓事業費補助金（市予算：1,500 千円）

目 的：新規創業者を対象に、専門家のノウハウを取り入れたクオリティの高いネットショップ（EC サイト）の構築等、ホームページの新規作成又は大幅改修に係る経費の一部を助成

受付期間：令和 3 年 4 月 1 日（木）～令和 4 年 3 月 31 日（木） ※随時

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：①上限 150 千円（EC サイト含む）

②上限 100 千円（EC サイト含まない）

対象経費：新規で開設する自社ホームページ作成に係る外部委託費など

申請件数：12 件

採択件数：12 件

交付決定額：1,027,144 円

交付確定額：1,027,144 円

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：令和 3 年 7 月 24 日（土）

会 場：WEB 開催

講 師：(株)エムスクエア・ラボ（牧之原市） 代表取締役 加藤 百合子 氏

エイグローブ(株)（浜松市中区） 取締役会長 小粥 おさ美 氏

(株)はなか（浜松市東区） 代表取締役 宮武 弓佳 氏

内 容：「ローカルを超える起業のポイント」

第 1 部／基調講演

「ローカルから全国へ、世界へ。視線を上げる起業・事業展開」

第 2 部／先輩起業家の体験談

第 3 部／パネルディスカッション

「私がなぜ全国・世界をねらうか」

参加料：無料

参加者：41名（定員：70名）

(4) 起業サロン

開催日：令和3年9月28日（火）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

講師：JUNGLE GYM（浜松市中区）代表 鈴木 沙彩 氏

天浜線金指駅石窯焼ピザ Piazza（浜松市北区）代表 和田 穂高 氏

内容：講演／トレーニングジム・ピザ屋で起業

意見交換会

参加料：無料

参加者：9名（定員：15名）

開催日：令和4年3月8日（火）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

講師：T-Treasure（浜松市中区）代表 松本 健吾 氏

rasIsa（らしさ）（浜松市）代表 杉山 美幸 氏

内容：意見交換会、参加者同士の対話

参加料：無料

参加者：10名（定員：15名）

(5) 起業実践サロン（全7回）

開催日：令和4年1月～3月

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室・WEB開催

講師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士）

村木 則予 氏、杉本 光生 氏、荒井 豊 氏 他

内容：企業への誘い、マーケティング（2回）、会計の基礎知識（2回）、
ワークショップ、ビジネスプラン発表会

受講料：無料

参加者：6名（定員：15名）

(6) 特別講座

開催日：令和3年10月6日（水）

会場：WEB開催

講師：フルーツパーラーTASTAS（浜松市中区）代表 柘植 亨将 氏

ひぐちコンサル（浜松市中区）山本 賢 氏

内容：講演、専門講座

受講料：無料

参加者：18名（定員：15名）

開催日：令和3年11月6日（土）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

講師：光産業創成大学院大学 教授 増田 靖 氏

はままつ起業家カフェ 相談員 村木 則予 氏 他

内容：ものづくり・ITでの起業について学ぶビジネス講座

共催：光産業創成大学院大学

受講料：無料

参加者：6名（定員：10名）

(7) 起業家交流会

開催日：新型コロナウイルス感染症の影響により中止

会 場：グランドホテル浜松

講 師：先輩起業家（4名程度）

内 容：創業者による事業計画のプレゼン、交流会 等

参加料：無料

参加者：一名（定員：60名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
相談件数	1,209件	1,285件	800件
起業家件数	135件	108件	50件

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

6 債務保証事業

決算額 1,740,922 円（予算額 1,900 千円）

<財団自主>

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【年度総括】

中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対し、債務保証する本制度について引き続き財団ホームページ等で周知した。

【実施内容】

新技術・新製品の開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して、債務保証（債務保証期間 8 年以内、保証債務残高 最大 3 千万円、無担保）を行った。

(1) 債務保証制度内容

保証限度額：一企業 30,000 千円以内

利 率：年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）

保証期間：8 年以内

保証料率：0.9%保証限度額

(2) 新規債務保証 新規債務保証 0 件

(3) 債務保証残高 債務保証残高 0 円

(4) 求償権の回収 求償権の回収業務終了

【成果指標】 ※（）内は日本立地センター一分を含めた回収額

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
求償権の回収整理額	60 千円 (120 千円)	525 千円 (1,050 千円)	60 千円 (120 千円)

※1：令和2年度決算時点、※2：令和4年3月末日時点

4【活かす】知財総合支援

7 知的財産活用推進事業

決算額 916,387 円（予算額 965 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権の重要性は益々高まっていることから、知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するために、特許、商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談への対応、支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援を行う。

【年度総括】

令和3年度の知財相談件数は928件であり、成果指標の700件及び前年度の実績834件を大幅に上回った。相談内容としては、特許、意匠、商標の出願に関する案件が多く、特に事業を行う上での商標権取得の重要性が浸透してきたことにより、小規模企業、個人事業者を含めた商標出願に関する相談が増加した。なお、商標出願は、出願者自身による出願手続きにより、費用負担の軽減が図れることから、直接出願の支援も行った。また、特許等の出願のみならず、他社権利問題、著作権問題、契約問題や企業の知財活動の取り組みに関する相談など多岐に渡る相談があり、総合的な知財相談窓口としての役割を果たした。

また、知的財産権に関する基礎知識習得や特許情報等の検索調査の実習など、知財実務に役立つセミナー、講座を開催することで、当地域の知財活用の底上げにも取り組んできた。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化の両面から適切な知財支援を行った。支援においては、当財団知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当(特許庁事業)とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度(弁理士・弁護士やデザイン、ブランドの専門家を派遣)を活用するとともに、当財団の経営・技術コーディネーターとも連携して実施した。特に、経営コーディネーターによる企業訪問時などに知財的課題についての掘り起こしを行うなど、知財の啓蒙・啓発にも取り組むとともに中小企業が潜在的に抱えている知財問題を見える化してその課題解決を支援した。

(2) 知財講演会・講習会の開催

ア 知財関連法、知財関連判例、中小企業の知財戦略・知財活用等に関する講演会を開催した。

①講演会（検索調査関連）

特許情報検索調査セミナー

開催日：令和3年10月13日（水）、20日（水）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：静岡県発明協会 知財総合支援窓口担当員 吉田 典江 氏
知財コーディネーター 石井 勉

内 容：国内外の特許情報等の検索調査に関する講義と調査実習
受講料：無料

参加者：13 日 14 名（定員：15 名、申込：14 名）

20 日 11 名（定員：15 名、申込：13 名）

②講演会（著作権関連）

開催日：令和 3 年 11 月 30 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター会議室

講 師：さくら国際特許法律事務所（愛知県名古屋市）

弁護士・弁理士 三木 浩太郎 氏

内 容：第 1 部「著作権の概要」

第 2 部「ネット社会における各種法的トラブル」

受講料：無料

参加者：39 名（定員：40 名、申込：42 名）

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会を開催する。

・初心者向け知財基礎講習会（全 7 回）

開催日：令和 3 年 6 月 25 日（金）～令和 4 年 3 月 16 日（水）

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

後 援：はままつ知財研究会

受講料：〔浜松市内〕1,000 円、〔浜松市外〕2,000 円

参加者：11 名（定員：15 名）

開催日	内 容
6 月 25 日（金）	(1) 知的財産権制度の概要 (2) 特許制度と特許法の概要①
7 月 30 日（金）	(3) 特許制度と特許法の概要② (4) 実用新案制度の概要 (5) 特許権の事例紹介
10 月 29 日（金）	(6) 特許権の権利範囲と権利解釈 (7) 特許権の利用関係
11 月 26 日（金）	(8) 意匠制度の概要 (9) 商標制度の概要、ブランド化の取り組み
12 月 10 日（金）	(10) 著作権制度の概要 (11) 不正競争防止法 (12) 知的財産関連契約
3 月 11 日（金）	(13) 研究開発成果の保護、自社権利の取得 (14) 他社権利対策、自社権利の活用
3 月 16 日（水）	(15) 企業における知財活動と知財戦略について (16) まとめ

ウ 出前知財講習会

・知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を開催する。

①出張知財講習会

開催日：令和 3 年 9 月 17 日（金）

会 場：静岡県立浜松工業高等学校

対象者：デザイン科 1 年生

内 容：具体的事例に基づくデザイン活動に係る知的財産権について

講師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：43名（生徒：40名、教師：3名）

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
①相談対応件数		834件	928件	700件
②企業訪問件数		53件	19件	90件
③専門家派遣件数		43件	41件	50件
④出願支援件数	特許	8件	6件	
	実用新案	6件	0件	
	意匠	3件	9件	
	商標	29件	44件	
⑤講演会・講習会開催回数		16回	10回	10回以上
⑥出前知財講習会開催回数		2回	1回	2回

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む

※指標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

8 はままつ知財研究会連携事業

決算額 一円（予算額 一千円） <事務局受託>

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業を事務局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知財に関わる人材育成に取り組む。

【年度総括】

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のような対面での活動が難しい状況であるため、「はままつ知財研究会」の部会、塾等の活動はWEBでの開催を進め、事業の滞りが無いよう努めた。特に、WEB開催のメリットを活かし、海外に在住する弁護士、弁理士によるオンライン講演会が実現でき、現地の最新知財情報等を得ることができた。また、知財経営塾、IP部会、知財サロン塾の活動を知財経営から判例研究を含めた知財実務まで幅広いテーマを設けることで、地域企業の知財活動のレベルアップを図ることができた。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートした。また、当財団の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動のレベルアップを図るとともに、知財に携わる人材の育成にも努めた。

具体的な活動としては、同研究会が開催する講演会や知財問題研究部会等の開催をサポートするとともに、浜松市受託事業の知財講演会、知財講習会を連携して開催した。

(1) 総会

開催日：令和3年6月10日（木） ※書面開催

内 容：令和2年度事業報告および収支決算について

令和3年度事業計画案および収支予算案について 等

(2) 幹事会

開催日：令和4年3月23日（水）

会 場：アクトシティ浜松コンgresセンター 会議室

内 容：令和3年度事業報告および収支決算について

令和4年度事業計画案および収支予算案について 等

(3) 知財問題研究部会（IP 部会）

知的財産に関する法制度、判例、企業の知財活動などに関する研究及びディスカッションする場として「知財問題研究部会」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室+WEB 開催

対 象：会員企業の知財担当者、弁理士 等

進 行：IP 部会長、IP 部会員

内 容：IP 部会長、IP 部会委員を中心に協議し、企業の知財活動に関する各種テーマを取り上げるとともに、テーマに適した講師を選定し、講演と参加者による意見交換、ディスカッションを行う

参加料：無料

参加者：各回 30 名程度

開催回	開催日	内容・講師
第 85 回	5 月 12 日（水）	内容：裁判例を通じての特許発明の進歩性とコミュニケーションについて 講師：柳田国際法律事務所（東京都千代田区）弁護士・弁理士 清水 節 氏（元知財高裁所長）
第 86 回	7 月 2 日（金）	内容：強い特許を生み出すための「発明ヒアリング」技術 講師：ソナーレ特許事務所（東京都千代田区）代表弁理士 右田 俊介 氏
第 87 回	9 月 3 日（金）	内容：今の中国知財の全体状況と中国意匠制度を通じた保護方式 講師：北京銀龍知識産権代理有限公司（中国北京市）市場本部 CEO 雙田飛鳥 氏 機械意匠部長 兼 日本部長 金成哲 氏
第 88 回	11 月 5 日（金）	内容：世界で勝つブランドをつく～日本経済復活のカギはブランドにある！～ 講師：静岡県立大学（静岡市）経営情報学部 教授 地域経営研究センター長 岩崎 邦彦 氏
第 89 回	1 月 14 日（金）	内容：米国特許訴訟制度～日本企業が備えるべきポイント～ 講師：MINAMINO LAW OFFICE, PLLC（米国ワシントン DC） 米国弁護士 南野 光一郎 氏

第 90 回	3 月 4 日（金）	内容：独占禁止法と知的財産 講師：公正取引委員会事務総局中部事務所 総務管理官 口ノ町 達朗 氏
--------	------------	--

(4) 知財経営研究部会（CIPO 部会）

企業の経営者、知財部門責任者が抱えている課題や悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財経営塾」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 会議室+WEB 開催

対 象：企業の知的財産部門の責任者 等

進 行：CIPO 部会長、知財コーディネーター 石井 勉

参加料：無料

参加者：3 社 5 名（定員：5 名）

開催回	開催日	内容
第 8 回	7 月 16 日（金）	「知財情報の開示」等の知財ガバナンスについて
第 9 回	9 月 14 日（火）	知財部門の働き方改革について
第 10 回	11 月 24 日（水）	コーポレートガバナンス・コード改定への対応について
第 11 回	2 月 16 日（水）	コーポレートガバナンス・コード改訂に伴う取り組みについて

(5) 知財サロン塾（全 6 回）

企業の知財実務担当者が抱えている課題や悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財サロン塾」を開催した。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室+WEB 開催

対 象：中小企業等の知財担当者

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加料：無料

参加者：6 社 6 名（定員：6 名）

開催回	開催日	内容
第 13 回	4 月 28 日（水）	①企業における技術者向け特許教育 ②特許報奨制度（自社実施の評価） ③知財担当者の資格取得奨励、資格取得に伴う手当
第 14 回	6 月 18 日（金）	①弁理士との付き合い方、活用の仕方 ②知財担当者の技術知識の必要性 ③知財情報を活用した社内への情報発信 ④第三者への特許ライセンス営業活動
第 15 回	8 月 20 日（金）	①海外のブランド戦略、海外での商標権取得の取り組み ②社内のノウハウ発掘とその管理 ③アイデア創出ミーティング成果の取扱い ④他社権利対策（国内・海外）

第 16 回	10 月 21 日（木）	①特許実績報奨問題 ②カタログ等の作成時における著作権問題 ③外国特許調査 ④社内への特許分析情報の発信
第 17 回	12 月 17 日（金）	財団知財 CD が企業勤務時代に担当した各種知財係争事件の事例紹介、事件を通しての教訓、サロン塾参加者へのメッセージ
第 18 回	2 月 9 日（水）	①アイデア創出会の開催・運営 ②再雇用者の知財部門での活用 ③新任知財担当者の教育・指導 ④AI 活用特許調査

9 特許等出願支援補助事業

決算額 44,000 円（予算額 44 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図る。

【年度総括】

令和 3 年度の本補助事業については、公募を 3 次募集まで実施し、審査会等の各種準備業務を行った。採択案件の内訳としては、国内では新規事業分野の製品に関する特許出願、海外では海外事業展開に伴う特許出願が多くみられた。一部の申請企業は補助金の活用方法としてまず国内の特許出願を行い、次年度に海外特許出願を行うなど、ステップアップを遂げながら国内外の知的財産権の取得に取り組んでいる。なお、本補助金は知財に関する関心の高まりを受けて、当初の予算を増額して企業ニーズに応えた。

令和 4 年度も知的財産権の取得を支援しながら、補助事業の効果が最大となるようにフォローを実施していく。

【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願および海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対し、浜松市が出願に係る経費の一部を補助するための準備業務を行った。

(1) 特許等出願費補助金

公募期間：[1 次] 令和 3 年 4 月 12 日（月）～5 月 31 日（月）

：[2 次] 令和 3 年 7 月 1 日（木）～8 月 31 日（火）

：[3 次] 令和 3 年 9 月 15 日（水）～10 月 29 日（金）

ア 国内出願補助金

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補助金額：上限 150 千円

対象経費：出願手数料、弁理士費用

イ 海外出願補助金

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用
先行技術調査費用など

申請件数：[1 次] 国内 12 件、海外 6 件

[2 次] 国内 2 件、海外 2 件

[3 次] 国内 2 件、海外 1 件

採択件数：[1 次] 国内 12 件、海外 5 件 ※国内 1 件中止

[2 次] 国内 1 件、海外 2 件

[3 次] 国内 2 件、海外 1 件

交付決定額：[1 次] 国内 1,678 千円 (12 件)、海外 2,080 千円 (5 件)

[2 次] 国内 150 千円 (1 件)、海外 775 千円 (2 件)

[3 次] 国内 300 千円 (2 件)、海外 457 千円 (1 件)

交付確定額：[1 次] 国内 1,606 千円 (11 件)、海外 2,064 千円 (5 件)

[2 次] 国内 150 千円 (1 件)、海外 775 千円 (2 件)

[3 次] 国内 300 千円 (2 件)、海外 413 千円 (1 件)

< 交付企業一覧 (国内) >

(単位：円)

1 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	内田工業㈱ (浜松市北区)	特許	工作機械における花びら型チャック	150,000
2	㈲池谷製作所 (浜松市中区)	特許	VR 体験装置における副端末と同一の仮想空間への参入する主端末、プログラム、システム及び方法	150,000
3	クリエイティブテクノロジー㈱ (浜松市浜北区)	特許	金型の冷却機構	150,000
4	㈱日本設計工業 (浜松市北区)	特許	検体ラック搬送用コンベア装置のガイド巾変更機構	150,000
5	㈱シェルタージャパン (浜松市東区)	特許	トレーラー等の固定支持装置	109,000
6	橋本エンジニアリング㈱ (浜松市浜北区)	意匠	ユニバーサルミトン	72,000 ※事業中止
7	㈱エコム (浜松市北区)	特許	フレームレス燃焼装置	150,000
8	株式会社 Sound Concierge (浜松市浜北区)	特許	飛沫防止パネルに於ける会話支援システム	147,000
9	㈱プラズマアプリケーションズ (浜松市西区)	特許	軽量小型で長寿命の紫外線殺菌装置	150,000

10	YK コラボ (浜松市浜北区)	特許	反射神経測定装置	150,000
11	ONENESS 設計企画 (株) (浜松市南区)	特許	建物の換気システム	150,000
12	(株)マック (浜松市浜北区)	特許	建物の耐震ダンパー装置	150,000
計				1,606,000

2 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
13	(株)アイ・アンド・プラス (浜松市北区)	特許	植物栽培容器とその栽培装置	150,000
計				150,000

3 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
14	(株)ティーアールシー ー高田 (浜松市西区)	特許	リチウム鉄リン系複合酸化物 バッテリー電池ユニット	150,000
15	(株)フクダサインボー ード (浜松市北区)	特許	点字学習キット	150,000
計				300,000

< 交付企業一覧 (海外) >

(単位: 円)

1 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)ヤマト製作所 (浜松市浜北区)	特許	骨接合疑似プレートおよび骨 接合疑似プレートの製造方法	164,000
2	アーモンド(株) (浜松市中区)	特許	暗号化方法、端末装置、暗号化 システム及びプログラム	437,000
3	(株)YAMADA (浜松市南区)	特許	歩行補助具 e-foot	463,000
4	リンクウィズ(株) (浜松市東区)	特許	形状検出方法、形状検出シス テム、プログラム	500,000
5	Solidknit (浜松市西区)	特許	3 次元立体編み機および編成 方法	500,000
計				2,064,000

2 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
6	(株)ティーエス (浜松市東区)	特許	ギア加工機搬送自動補正シ ステム	275,000
7	(株)丸文製作所 (浜松市中区)	特許	蒸気噴出用ホース	500,000
計				775,000

3 次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
8	(株)ジェネシス (浜松市中区)	特許	キャストのブレーキ装置	413,000
計				413,000

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
特許出願件数（国内）	15 件	14 件	10 件

項目	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	
特許出願総数（国内）※3	80 件	94 件	
特許出願登録件数（国内）※3	38 件	49 件	

※1：令和 3 年 3 月末日時点、※2：令和 4 年 3 月末日時点

※3：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成 25 年度からの累計

5【学ぶ】人材育成支援

10 製造中核人材育成事業

決算額 1,346,835 円（予算額 2,624 千円） <県補助・8市町負担金>

【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通した現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【年度総括】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた座学と工場見学を組み合わせた「製造中核人材育成講座」の実施を延期し、代替事業として同じく現場マネジメントを担う中核人材の育成を目的とした講座等を開催した。

「製造中核人材育成マネジメント講座」では、経営の視点にも着目し、組織のマネジメントの観点から中核人材としてのマインドを学んでもらった。また、「製造中核人材育成ミニ講座」では、人材育成や働き方改革で先進的な取り組みをする地域企業の工場見学を行い、新たな視点や考え方のヒントを得ていただいた。今後も、技術面のみならず、工場運営、経営と様々な観点から中核人材を育成することで、当地域産業の持続的な発展に寄与していく。

【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習をセットにしたスタイルの講座を開催した。

(1) 製造中核人材育成講座

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、代替案を実施

(2) 令和3年度「製造中核人材育成講座」運営委員会

開催日：令和3年12月24日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：令和3年度活動報告、意見交換 等

参加者：スズキ㈱、浜松工業技術支援センター、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松、㈱ユニバンス

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響における代替事業

ア 製造中核人材育成マネジメント講座（全4回）

開催日：令和3年6月23日（水）、7月7日（水）、15日（木）、21日（水）

会 場：WEB開催

内 容：変化に強い組織をつくるために中核人材が持つべきマインドや DX を通した経営戦略を学ぶ講座

受講料：[県西部地域] 20,000 円、[県西部地域外] 40,000 円

参加者：6社9名（定員：20名、申込：9名）

[県西部地域] 6社9名、[県西部地域外] 一社一名

イ 製造中核人材育成ミニ講座

開催日：A コース／令和3年12月15日（水）

／令和4年1月19日（水）

B コース／令和3年12月21日（火）

／令和4年1月21日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構、地域企業

内 容：A コース／人材育成と改善の仕組み

（株）アルテックス（浜松市浜北区）

B コース／働き方改革と高効率化

（株）小沢精密工業（浜松市浜北区）

受講料：〔県西部地域〕1,000 円、〔県西部地域外〕2,000 円

参加者：A コース

8 社 12 名（定員：10 名、申込：13 名）

〔県西部地域〕8 社 12 名、〔県西部地域外〕一社一名

12 社 12 名（定員：10 名、申込：12 名）

〔県西部地域〕12 社 12 名、〔県西部地域 外〕一社一名

B コース

15 社 16 名（定員：10 名、申込：16 名）

〔県西部地域〕14 社 14 名、〔県西部地域外〕1 社 2 名

10 社 13 名（定員：10 名、申込：13 名）

〔県西部地域〕10 社 13 名、〔県西部地域外〕一社一名

ウ 製造中核人材育成フォローアップ講座

開催日：令和 4 年 3 月 22 日（火）

会 場：WEB 開催

対 象：過年度製造中核人材育成講座の受講生

内 容：マーケティングの基礎と製造業をケースとしたグループワーク

受講料：〔県西部地域〕5,000 円、〔県西部地域外〕10,000 円

参加者：2 名（定員：20 名、申込：2 名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	平成 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
「製造中核人材育成講座」受講者数	一名	一名	30 名
「製造中核人材育成講座」新規受講社数	一社	一社	一社
「製造中核人材育成講座」修了者数	一名	一名	30 名
「製造中核人材育成講座」受講者満足度	－％	－％	90％以上
「製造中核人材育成ミニ講座」企業訪問数※3	0 社	3 社	一社
「製造中核人材育成マネジメント講座」受講者満足度※3	－％	100％	90％以上

※1：令和 3 年 3 月末日時点、※2：令和 4 年 3 月末日時点

※3：新型コロナウイルス感染症の影響における代替事業

1 1 現場力向上人材育成事業

決算額 1,702,532 円（予算額 2,700 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

生産リードタイム短縮や生産性向上等の現場力強化に必要な現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

【年度総括】

本事業では、現場改善等による生産性向上や強い現場づくりを目指し、セミナーによる啓発から具体の現場改善での助言と、総合的な支援を行った。特に「出張現場改

善講座」では実際に企業を訪問し、現場を見た上で、改善講座を行い、社内全体の改善に対する意識の共有化を図った。また、近年急速に普及する DX にも着目し、「デジタル化対応セミナー」では、社内の IT 化および IoT を活用した企業連携による新たなビジネスモデルの構築事例を紹介することで、DX への取り組みについて考えるきっかけをつくった。現場改善には技術的なものだけではなく、社内の取り組み体制等も重要なため、引き続き経営層も含めた取り組みを支援し、成果に繋げていく。

【実施内容】

現場力向上に必要な基礎的な現場改善知識や手法、昨今の地域中小企業の課題である人材不足などに対応を図るとともに、大企業を中心に転換が図られているデジタルトランスフォーメーション（DX）に対応するためのセミナー、講座を開催した。

また、講座参加企業を対象に財団コーディネーターと外部アドバイザーを派遣し、伴走型の支援を行った。

(1) 現場改善の基礎

ア 中小企業のための現場改善セミナー

開催日：令和 3 年 5 月 27 日（木）

会 場：WEB 開催

講 師：国本工業(株)（浜松市浜北区） 代表取締役会長 國本 幸孝 氏

関ものづくり研究所（浜松市北区） 代表 関 伸一 氏

内 容：講演／労働生産性向上のためのイノベーション

講演／製造業の現場改善ステップ！強い工場の作り方

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：45 社 57 名（定員：100 名、申込：70 名）

[県西部地域] 45 社 57 名、[県西部地域外] 一社一名

イ 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール（全 5 回）

開催日：令和 3 年 7 月 13 日（火）、20 日（火）、27 日（火）、8 月 3 日（火）、10 日（火）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

内 容：現場改善に係る基礎を学ぶ講座

受講料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：10 社 11 名（定員：20 名、申込：11 名）

[県西部地域] 10 社 11 名、[県西部地域外] 一社一名

ウ 出張現場改善基礎講座

開催日：令和 4 年 1 月 5 日（水）

会 場：平岡ボデー(株)（浜松市西区）

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

内 容：地域企業へ講師を派遣し、現場改善に係る基礎講座を社内で開催

派遣料：[県西部地域] 30,000 円、[県西部地域外] 60,000 円

参加者：1 社（定員：5 社、申込：1 社）

[県西部地域] 1 社、[県西部地域外] 一社

(2) デジタル化の基礎

ア デジタル化対応セミナー

開催日：令和 4 年 2 月 25 日（金）

会 場：WEB 開催

講 師：(株)IBUKI（山形県西村山郡河北町）
 (株)ウチダ製作所（愛知県知多市）
 内 容：DX の考え方、デジタル化の啓発 等
 参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円
 参加者：23 社 30 名（定員：50 名、申込：35 名）
 [県西部地域] 23 社 30 名、[県西部地域外] 一社一名

イ 3D 設計資産活用講座（全 3 回）

開催日：令和 3 年 10 月 19 日（火）、11 月 2 日（火）、16 日（火）
 会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
 講 師：Material 工房テクノフレキス（長野県上伊那郡）
 代表 藤崎 淳子 氏
 内 容：3D-CAD/CAM/CAE の操作実習、活用事例 等
 受講料：[県西部地域] 15,000 円、[県西部地域外] 30,000 円
 参加者：6 社 8 名（定員：10 名、申込：8 名）
 [県西部地域] 6 社 8 名、[県西部地域外] 一名一名

(3) BCP 策定支援

ア 中小企業のための経営力向上に生かす BCP 策定・見直し講座
 開催日：令和 3 年 6 月 21 日（月）
 会 場：WEB 開催
 講 師：e-経営推進室（浜松市中区） 代表 宮角 良介 氏
 内 容：BCP の必要性和策定の考え方、策定体験 等
 受講料：[県西部地域] 3,500 円、[県西部地域外] 7,000 円
 参加者：7 社 7 名（定員：20 名、申込：9 名）
 [県西部地域] 7 社 7 名、[県西部地域外] 一社一名

(4) 専門家派遣

現場改善や BCP 策定等の企業が抱える各種課題に対し、専門家を派遣して課題の解決を図る。
 期 間：令和 3 年 4 月～令和 4 年 2 月
 会 場：派遣先企業
 派遣料：@15,000 円（@最大 5 回）
 参加者：3 社 15 回

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
現場改善実践企業数	5 社	3 社	5 社
「現場改善推進スクール」受講者数	20 名	11 名	20 名
「現場改善推進スクール」受講者満足度	100%	100%	90%以上
BCP 策定支援企業数	一社	0 社	一社
企業訪問数	2 社	5 社	30 社以上

※1：令和 3 年 3 月末日時点、※2：令和 4 年 3 月末日時点

12 新規事業育成事業

決算額 1,024,365 円（予算額 1,763 千円） <県補助・8 市町負担金>

【目的】

自社または個人の強みを生かした商品の企画・開発をきっかけに、下請けからの脱却につながる商品が創出される地域にする。

【年度総括】

本事業では、自社製品の開発等による地域企業の新規事業展開を支援するため、新製品開発のための取り組み方法や試作開発アイデアの創出について講座等を実施した。セミナーで自社製品の必要性や重要性を啓発するとともに、デザイン思考やマーケティングを学んでもらうことで、地域企業の自社製品開発への機運を高め、取り組むきっかけとしてもらった。また、今年度も自社製品スクールを開催し、アイデアを試作品製作段階まで進めた。スクールは参加してから実際の製品として上市するまで数年単位で時間がかかる場合もあるため、過年度の受講生も含めて、進捗を確認し、フォローする体制を整えていく。

【実施内容】

下請けが主となっている中小製造業者に対して、自社製品の必要性を啓発するとともに、新製品・新サービスを開発・販売する上で必要な知識の習得と、実際にアイデア創出から上市までを目指す講座を開催した。

(1) 自社製品開発に向けた啓発

ア 自社製品開発セミナー

開催日：令和3年6月24日（木）

会 場：WEB 開催

講 師：ヒロパートナーズオフィス（東京都港区） 代表 五島 宏明 氏
ナイトー工業㈱（浜松市中区） 代表取締役 内藤 照幸 氏

内 容：講演／あなたの会社のお宝発掘！～幸せの青い鳥はすぐそばに～
事例／小型ロケットストーブ“てんぐの小太鼓”が楽しい！

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：17 社 17 名（定員：100 名、申込：23 名）

[県西部地域] 17 社 17 名、[県西部地域外] 一社一名

イ 実践者に学ぶ自社製品開発講座

開催日：令和4年2月28日（月）

会 場：グランドホテル浜松

講 師：師勝化成㈱（愛知県北名古屋市）、旬シオン（岐阜県美濃市）、ナイトー工業㈱（浜松市中区）

内 容：自社製品開発経験のある地域内外の中小企業を招いたワークショップ
受講料：[県西部地域] 1,000 円、[県西部地域外] 2,000 円

参加者：7 社 14 名（定員：20 名、申込：15 名）

[県西部地域] 6 社 12 名、[県西部地域外] 1 社 2 名

(2) 自社製品開発の思考・手順習得

ア 「売れる」を創るワークショップ（全3回）

開催日：令和3年7月19日（月）、26日（月）、8月4日（水）

会 場：WEB 開催

講 師：関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授 富田 欣和 氏

オモイエル(株) (東京都千代田区) 代表取締役 CEO 近田 侑吾 氏
マーケティング経営研究所 (静岡市)

代表・中小企業診断士 西畑 隆久 氏

内 容 : デザイン思考の講義及びワークショップ、市場ニーズと技術シーズの
整理、マーケティング手法の講義 等

受講料 : [県西部地域] 3,500 円、[県西部地域外] 7,000 円

参加者 : 7 社 8 名 (定員 : 20 名、申込 : 10 名)

[県西部地域] 7 社 8 名、[県西部地域外] 一社一名

(3) 自社製品開発の実践

ア 第 10 期自社製品スクール (全 4 回)

開催日 : 令和 4 年 3 月 7 日 (月)、16 日 (水)、23 日 (水)、30 日 (水)

会 場 : 受講企業 (株米食角十)

講 師 : (株)リバーランズ・コンサルティング (三島市) 代表取締役 坂井 正徳 氏

内 容 : ファシリテーターとの対話による製品開発の事業計画と試作品の製作

受講料 : [県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者 : 1 社 1 名 (定員 : 5 名、申込 : 2 名)

[県西部地域] 1 社 1 名、[県西部地域外] 一社一名

イ フォローアップ (2 日間)

※令和 4 年度フォローアップ予定

ウ 自社製品スクール卒業生工場視察

※新型コロナウイルス感染防止のため次年度に延期

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	5 件	1 件	5 件
製品化・商品化件数	2 件	0 件	2 件
企業訪問数	3 社	4 社	30 社

※1 : 令和 3 年 3 月末日時点、※2 : 令和 4 年 3 月末日時点

6【創る】新事業開発支援

1 3 新産業創出支援事業

決算額 10,227,026 円（予算額 13,257 千円） <浜松市受託>

【目的】

市場ニーズに沿った製品・技術開発を推進するため、幅広い分野の情報収集やマッチングの機会を創出する。また、複合的な産業構造への転換をするため、浜松商工会議所等の産業支援機関と連携し、成長が見込まれる新たな産業分野への参入を促進させ、新たな成長産業の集積地を目指す。

【年度総括】

令和3年度は、生産性向上支援として、IoTや産業用ロボットに関する講座、講習会を開催し、IoTや産業用ロボットの知識習得及び現場見学を通じた導入イメージの醸成等を実施した。また、IoTや産業用ロボットに関するビジネス連携、ビジネス創出のワークショップを開催し、新産業創出の方向性を模索した。スマートものづくり支援デスクでは、IoTや産業用ロボット導入等のワンストップ窓口として、相談先の現場訪問等を通じて、課題の発見、解決方法の検討、関係各所への橋渡し等を行った。

新事業挑戦支援では、新事業展開のきっかけづくりのため、浜松市内企業7社に対して、スタートアップ企業等とのマッチング機会を提供し、そのうち2件については既に連携が決定し、プレスリリースも実施した。また、併せて新事業展開のための製品開発補助金の準備業務を実施し、採択されたほぼ全ての補助事業者が一次試作製作を完了し、来年度以降、製品化に向けて進んでいく予定である。

【実施内容】

平成29年度から取り組んでいる「産業用ロボット」を大テーマとし、ロボットシステムインテグレータ（以下、SIer）や、ロボットを動かせる人材の育成に主眼を置き、生産性向上を課題としている企業やSIerの育成に取り組む中小企業を支援した。

また、ロボットやIoTの導入等による生産性向上を支援するためのワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」を中心に、中小製造業者の生産性向上に関する課題の相談対応や各支援機関への橋渡しを行うために、専任のコーディネーターを配置した。

(1) 啓発

ア ワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」

ロボットやIoT導入などの生産性向上に関する課題の相談や各支援機関への橋渡しを行うコンシェルジュ機能を担うため、ワンストップ相談窓口を財団内に設けて、地域支援機関と連携を図りながら中小企業を支援する。

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構及び企業の現場

内 容：生産性向上等の相談、地域支援機関等への紹介など

スタッフ：チーフデスク、技術コーディネーター1名、アドバイザー2名

連携機関：静岡県、浜松商工会議所（浜松ロボット産業創成研究会）、浜松地域中小ものづくり企業IoT化推進協議会、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松、浜松工業技術支援センター など

相談実績：61件

（ロボット：26社34件、IoT：13社19件、生産性向上：8社8件）

イ スマートものづくり導入促進セミナー

開催日：令和3年5月14日（金）

会 場：WEB 開催

講 師：栗田産業(株) (静岡市) 取締役副社長 栗田 圭 氏

アンビエントデータ(株) (東京都世田谷区)

代表取締役 下島 健彦 氏

(株)ムラックス (浜松市南区) 管理部 部長 村松 大輔 氏

(株)テクノア (岐阜県岐阜市)

IT 経営プロジェクトリーダー 古川 裕介 氏

営業部中部営業課 グループリーダー 柳 健太郎 氏

ヤマハ発動機(株) ロボティクス事業部 (浜松市北区)

FA 統括部 営業部 国内営業グループ 齊藤 直樹 氏

内 容：産業用ロボットやIoTに関する最新動向、導入の際活用できる補助金の紹介、中小企業による導入・活用事例 等

参加料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：33 社 42 名 (定員：80 名、申込：61 名)

[市内] 23 社 26 名、[市外] 10 社 16 名

ウ ロボット・IoT 導入企業現場見学ツアー

開催日：令和3年7月13日 (火)

会 場：沢根スプリング(株) (浜松市南区)

ヤマハ発動機(株)ロボティクス事業部 (浜松市北区)

講 師：沢根スプリング(株) 会長 沢根 孝佳 氏

ヤマハ発動機(株) ロボティクス事業部 SMT 統括部

国内営業部 国内営業グループ 齋藤 昭雄 氏

内 容：ロボット・IoT 導入企業の現場見学を通して、詳細な導入ポイントを学ぶツアー

参加料：[市内] 1,000 円、[市外] 2,000 円

参加者：10 社 10 名 (定員：10 名、申込：10 名)

[市内] 4 社 4 名、[市外] 6 社 6 名

エ IoT・自動化を学ぶスマートファクトリー講習会 (工場見学会)

開催日：令和4年3月31日 (木)

会 場：ローランド ディー. ジー. (株) (浜松市北区)

ヤマハ発動機(株) ロボティクス事業部 (浜松市北区)

講 師：ローランド ディー. ジー. (株) 生産本部 製造部 部長 渥美 光是 氏

ヤマハ発動機(株) ロボティクス事業部 SMT 統括部

国内営業部 国内営業グループ 齋藤 昭雄 氏

内 容：スマートファクトリー化に向けて必要となるツールや知識について現場見学を交えて学ぶ講習会

参加料：[市内] 1,000 円、[市外] 2,000 円

参加者：11 社 11 名 (定員：10 名、申込：11 名)

[市内] 7 社 7 名、[市外] 4 社 4 名

(2) 人材育成

ア 産業用ロボット教示スクール (全2回) ※浜松テクノカレッジ共同開催

開催日：①令和3年5月27日 (木)、28日 (金)

②令和3年10月14日 (木)、15日 (金)

③令和3年11月18日 (木)、19日 (金)

④令和4年2月17日 (木)、18日 (金)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、④は中止

会 場：(株)東洋鐵工所（浜松市東区）

講 師：(株)アラキエンジニアリング（浜松市中区） 代表取締役 荒木 弥 氏

内 容：「産業用ロボットの概要と安全に取り扱うための知識と操作」や「産業用ロボットの教示作業の知識と操作」を学ぶ講座

受講料：20,000 円

参加者：①10 社 12 名（定員：12 名、申込：14 名）

〔市内〕 7 社 8 名、〔市外〕 3 社 4 名

②10 社 12 名（定員：12 名、申込：12 名）

〔市内〕 6 社 8 名、〔市外〕 4 社 4 名

③10 社 12 名（定員：12 名、申込：15 名）

〔市内〕 9 社 10 名、〔市外〕 1 社 2 名

イ ロボットプログラミング講習会

開催日：令和 4 年 3 月 22 日（火）、23 日（水）

会 場：浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

講 師：浜松職業能力開発短期大学校 准教授 寺田 憲司 氏

内 容：ロボットプログラミングの概要・基礎を学ぶ講座

受講料：〔市内〕 9,500 円、〔市外〕 19,000 円

参加者：5 社 5 名（定員：9 名、申込：5 名）

〔市内〕 5 社 5 名、〔市外〕 一社一名

ウ ロボットシステム向け PLC 講習会（全 2 回）

開催日：令和 4 年 3 月 24 日（木）、25 日（金）

会 場：浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

講 師：浜松職業能力開発短期大学校 准教授 寺田 憲司 氏

内 容：PLC の概要・基礎プログラム、PLC による機械制御を学ぶ講座

受講料：〔市内〕 9,500 円、〔市外〕 19,000 円

参加者：6 社 7 名（定員：9 名、申込：7 名）

〔市内〕 6 社 7 名、〔市外〕 一社一名

エ 現場カイゼンにおける IoT 活用講座

開催日：令和 4 年 3 月 1 日（火）、2 日（水）

会 場：WEB 開催

講 師：(株)アムイ（愛知県名古屋市中区）代表取締役社長 山田 浩貢 氏 他

内 容：実技を通して、IoT に関する基礎知識の習得及び導入に向けた構想を構築する講座

受講料：〔市内〕 5,000 円、〔市外〕 10,000 円

参加者：1 社 2 名（定員：10 名、申込：2 名）

〔市内〕 1 社 2 名、〔市外〕 一社一名

(3) ビジネス創出

ア ロボット・IoT 関連企業ビジネス連携ワークショップ（全 2 回）

開催日：令和 3 年 11 月 4 日（木）、11 日（木）

会 場：浜松市舞阪サテライトオフィス

（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：技術コーディネーター 金子 和佳

内 容：ロボットメーカー、SIer、ベンダー、ユーザー企業を集め、ワール

ドカフェ方式のワークショップを開催し、仮想スマートファクトリーの構想を通じて、ロボット・IoT 関連企業のビジネス連携を図る

参加料：無料

参加者：17 社 19 名（定員：10 名、申込：21 名）

〔市内〕13 社 13 名、〔市外〕4 社 6 名

イ ロボットビジネス創出ワークショップ

開催日：令和 3 年 10 月 27 日（水）

会 場：浜松市舞阪サテライトオフィス

講 師：技術コーディネーター 宮本 正信

内 容：ロボットユーザー企業や SIer を集め、ワールドカフェ方式のワークショップを開催し、プレス・溶接に特化した課題共有と解決案の模索を行う。また、ワークショップ開催後、自社の課題解決やロボットシステムの販売に繋がることが想定できる企業の掘り起こしを伴走支援する

参加料：無料

参加者：8 社 8 名（定員：10 名、申込：10 名）

〔市内〕5 社 5 名、〔市外〕3 社 3 名

(4) 新事業挑戦支援

ア 新事業挑戦事業費補助金

浜松市が成長分野に位置づけている 6 分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）について新事業展開を目指す浜松市内の中小企業者に対し、浜松市が製品開発における一次試作開発費に係る経費の一部を補助するための準備業務を行う。

公募期間：〔1 次〕令和 3 年 4 月 12 日（月）～5 月 31 日（月）

：〔2 次〕令和 3 年 7 月 12 日（月）～8 月 10 日（火）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 1,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、開発設計費、外注委託費、技術指導購入費、借損料、消耗品費等

事業期間：交付決定後～令和 4 年 2 月 28 日（月）

申請件数：〔1 次〕8 件（うち 1 件はプレゼン審査前に申請辞退）

〔2 次〕2 件

採択件数：〔1 次〕4 件

〔2 次〕2 件

交付決定額：〔1 次〕3,726,430 円（4 件）

〔2 次〕1,307,950 円（2 件）

交付確定額：〔1 次〕3,724,955 円（4 件）

〔2 次〕1,291,727 円（2 件）

<1 次交付企業一覧>

（単位：円）

1	企業名	㈱アイ・アンド・プラス （浜松市北区）	確定額	724,955
	〔成長 6 分野〕新農業関連事業			

	〔事業名〕 室内で長期に渡りさまざまな花を育て鑑賞することができる照明装置の開発		
	〔製造・生産技術等〕 植物栽培用人工光源装置（特許 2020-123356）		
	〔成果と今後〕 照明装置の一次試作開発が完了し、実証実験を実施すると共に、この装置に適した植物データベースも構築中である。製品仕様が確定次第クラウドファンディングプロジェクトを立ち上げ、ガーデンインテリアとしてテストマーケティングを行う。		
2	企業名	QUICCO SOUND(株) (浜松市西区)	確定額 1,000,000
	〔成長 6 分野〕 光・電子関連事業		
	〔事業名〕 地球環境に優しい低遅延ワイヤレス MIDI キーボードの試作		
	〔製造・生産技術等〕 低遅延ワイヤレス MIDI、ソーラーパワー駆動		
	〔成果と今後〕 独自ワイヤレス MIDI 技術開発、製品に使うリサイクル素材検討、メカ設計が完了した。本体に内蔵する基盤は、キーボード部分の制作が完了した。低消費電力ハードウェアの設計が完了次第、クラウドファンディングの実施を計画している。		
3	企業名	アーモンド(株) (浜松市中区)	確定額 1,000,000
	〔成長 6 分野〕 デジタルネットワーク・コンテンツ関連事業		
	〔事業名〕 メールでのパスワード付 ZIP ファイルの「あの」やり取りを不要にする、最高の安全性を手軽・安価に利用できるファイル転送サービスの開発		
	〔製造・生産技術等〕 ソフトウェア技術全般、暗号化技術、サーバ技術、DB		
	〔成果と今後〕 PC、スマートフォン、タブレットにインストール不要で、安全にファイルを送受信できるアプリケーションの開発が完了（一次試作完了）した。今後はソフトウェアの品質向上並びに機能追加の開発、マーケティング費用等の資金調達を実施し、製品化を進めていく。		
4	企業名	(株)プラズマアプリケーションズ (浜松市西区)	確定額 1,000,000
	〔成長 6 分野〕 光・電子関連事業		
	〔事業名〕 マイクロ波装置およびマイクロ波放電ランプの製造販売		
	〔製造・生産技術等〕 マイクロ波放電プラズマおよびマイクロ波用電子機器		
	〔成果と今後〕 紫外線殺菌装置の構造設計、装置内に収まるマイクロ波発振器の設計製作等が完了し、殺菌装置の更なる小型化が可能なことを確認した。今後、1 年をかけて低価格化のための機械加工部品の見直し及び製品化を進めていく。		
合計			3,724,955

<2 次交付企業一覧>

(単位:円)

1	企業名	(株)ホバリング (浜松市中区)	確定額 1,000,000
	〔成長 6 分野〕 新農業関連事業		
	〔事業名〕 葉物野菜の葉カビに対応する切断・プレス・マーキング機能搭載検査ロボット試作開発		
	〔製造・生産技術等〕 カメラでの検査に関する技術		

	〔成果と今後〕複数の車両をテストし、ロボットを搭載する車体が決定した。ロボットアームを当初より短いものを採用し、簡易的に取り付けられるアタッチメント3種が決まり、今後はロボットアーム、FPV ゴーグル、アタッチメントの課題を解決すると共に、ビニールハウス内での実証実験を進めていく予定である。		
	企業名	(有)マンダリンエレクトロン (浜松市西区)	確定額 291,727
2	〔成長6分野〕健康・医療関連事業		
	〔事業名〕小型電子楽器マトリョミンを用いた脳卒中リハビリプロジェクト		
	〔製造・生産技術等〕特になし		
	〔成果と今後〕マトリョミンの演奏方法を手首に巻いたリストバンドで演奏できる仕様に変更できたと共に、基板回路を新規開発し、マトリョーシカの中に組み込む前段階まで開発を実施した。今後は新型基板回路の更なる開発と、リハビリ効果の検証を進めていく。		
合計			1,291,727

イ 新事業挑戦セミナー

新たな事業展開を目指す中小企業経営者に向け、新規事業テーマの設定方法及び既存事業の見直しの必要性や手法を紹介し、新事業展開を啓発する。

開催日：令和3年8月24日（火）

会 場：WEB 開催

講 師：㈱リバネス（東京都新宿区）執行役員 CKO 長谷川 和宏 氏

㈱浅野（群馬県伊勢崎市）取締役 浅野 圭祐 氏

内 容：ものづくり製造業の新事業展開を啓発する講演や㈱リバネスとのトークセッション

参加料：〔市内〕無料、〔市外〕1,000 円

参加者：20 社 20 名

〔市内〕14 社 14 名、〔市外〕6 社 6 名

ウ 中小企業×スタートアップのマッチング支援

スタートアップ等との連携により、新分野にチャレンジする新事業展開のきっかけとするため、地域中小企業とスタートアップ等のマッチングを支援する。

開催日：随時

会 場：参加中小企業の現場及び WEB 開催

内 容：中小企業とスタートアップの「理念と事業計画、自社技術・強み、ビジネスプロセス」を把握し、共同事業イメージの構築などができるような企業同士で連携仮説の設定までできるようなマッチング機会創出を個別面談方式にて実施

参加料：無料

参加者：7 社 〔市内〕7 社、〔市外〕1 社

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
スマートものづくり支援デスク相談件数	37 社	61 社	50 社

新規プロジェクト立上げ件数	1 件	2 件	1 件以上
技術連携マッチング件数	9 件	10 件	5 件
産業用ロボット・IoT 導入企業数	0 社	4 社	3 社
企業訪問数 ※延べ件数	85 社	90 社	100 社

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

14 競争的資金活用支援事業

決算額 124,664,687 円（予算額 130,513 千円）＜県補助・8 市町負担金・国補助＞

【目的】

地域中小企業の新技術開発促進や経営基盤強化のため、国、県、市町等の各種競争的資金の獲得、運用、事業化等を支援する。

【年度総括】

本事業は、令和3年度より中小企業の技術開発に伴う相談から補助金の申請、事業化への活動を伴走支援する事業にリニューアルし、シームレスな支援を目指して実施した。競争的資金獲得による研究開発、新事業展開の伴走型支援である「イノベーションアクション支援」では、研究開発テーマを公募し、個別企業の状況に合わせた伴走支援を実施した。経済産業省のサポイン事業に関しては、次年度に向けた4件の申請支援を実施し、採択された場合は事業管理機関として、成果に結びつく支援を行っていく。

令和4年度もサポイン（Go-Tech）事業をはじめとした国等の各種競争的資金の活用を促すとともに、市村清新技術財団「新技術開発助成」等の他財団の助成金も含め、各種競争的資金獲得の支援を実施していく。

【実施内容】

中小企業の新事業や新製品開発創出に向け、サポインをはじめ、ものづくり補助金、経営革新事業等の競争的資金獲得を支援するため、セミナーや個別相談会を開催した。また、競争的資金獲得に向けたイノベーションアクション支援を個別に実施し、技術的課題を抱えている中小企業に対して伴走支援を行った。

(1) 競争的資金獲得支援

ア ものづくり中小企業のための補助金獲得セミナー

開催日：令和3年4月12日（月）

会 場：グラントホテル浜松

内 容：①令和3年度の経済産業省・県・市・支援機関等の補助金制度紹介
②個別相談会

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：27 社 29 名（定員：100 名、申込：35 名）

[県西部地域] 27 社 29 名、[県西部地域外] 一社一名

個別相談会：3 社

イ ものづくり中小企業のためのサポイン活用促進セミナー

開催日：令和3年11月8日（月）

会 場：グラントホテル浜松

内 容：サポイン制度の最新動向や書類作成に関するセミナー、個別相談会

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：17社22名（定員：50名、申込：21名）
〔県西部地域〕16社21名、〔県西部地域外〕1社1名
個別相談会：10社

ウ イノベーションアクション支援（競争的資金獲得伴走支援）

＜テーマ公募＞

開催日：令和3年6月1日（火）～30日（水）
内 容：国等の競争的資金獲得に向けた研究開発テーマを公募
応募数：〔県西部地域〕9社13テーマ
採択数：〔県西部地域〕10社12テーマ

＜説明会＞

開催日：令和3年6月22日（火）
会 場：グランドホテル浜松
内 容：①講演「サポインを活用した第3創業への模索」
（株）内山刃物（浜松市中区） 代表取締役社長 内山 文宏 氏
②イノベーションアクション支援について
参加料：〔県西部地域〕無料、〔県西部地域外〕1,000円
参加者：9社9名（定員：20名、申込：11名）
〔県西部地域〕9社9名、〔県西部地域外〕一社一名

＜イノベーションアクション伴走支援＞

期 間：令和3年7月5日（月）～令和4年3月31日（木）
会 場：支援先企業 等
内 容：地域中小企業の技術課題の明確化や解決方法の探索を目的に、新事業展開や新製品開発に向けた補助金獲得等を応募テーマに合った形で伴走支援した。

支援企業：〔県西部地域〕13社15テーマ

（株）アールテック（浜松市中区）、（株）イハラ製作所（浜松市北区）、齋藤精機（株）（浜松市東区）、（株）システム・ジューピー（浜松市東区）、大建産業（株）（浜松市南区）、テイボー（株）（浜松市中区）、橋本エンジニアリング（株）（浜松市浜北区）、（株）パパラボ（浜松市中区）、（株）ポリシス（浜松市浜北区）、ロボセンサー技研（株）（浜松市北区）、シナジーオプトシステムズ（株）（浜松市西区）、鈴木製機（株）（掛川市）、イノベティブ・デザイン&テクノロジー（株）（浜松市北区）

◎令和4年度サポイン事業申請予定：4社

- (2) 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）の事業管理 ※国補助事業
サポイン事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

・事業管理機関としての支援

補助金交付申請総額：129,654千円／5件（間接経費含む）
補助金交付決定総額：129,654千円／5件
補助金交付確定総額：124,219,114円／5件

ア （株）内山刃物（浜松市中区）

技術案件：マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発

研究機関：（株）内山刃物、東京電機大学、光産業創生大学院大学、浜松工業技術支

援センター

実施期間：令和元年度～令和３年度 ＜継続／３年目・最終年度＞

イ ㈱南部製作所（浜松市浜北区）

技術案件：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発

研究機関：㈱南部製作所、静岡大学

実施期間：令和元年度～令和３年度 ＜継続／３年目・最終年度＞

ウ 金田工業㈱（浜松市中区）

技術案件：次世代自動車向け軸付はすば歯車の冷間鍛造新製法にかかる研究開発

研究機関：金田工業㈱、静岡大学

実施期間：令和元年度～令和３年度 ＜継続／３年目・最終年度＞

エ ㈱ANSeeN（浜松市中区）

技術案件：プラント配管向け高精度減肉計測用 X 線ラインセンサの開発

研究機関：㈱ANSeeN、静岡大学

実施期間：令和元年度～令和３年度 ＜継続／３年目・最終年度＞

オ ㈱テイデック（浜松市浜北区）

技術案件：透明ハル積層技術を用いた医療用臓器モデル立体ディスプレイの開発

研究機関：㈱テイデック、千葉大学

実施期間：令和元年度～令和３年度 ＜継続／３年目・最終年度＞

(3) 他の行政・地域支援機関等と連携支援

国や県をはじめとした、他の行政・地域支援機関等との連携を行い、地域中小企業に役立つ補助金情報をいち早く周知し、申請支援を実施した。

＜各種補助金新規申請支援＞

・個別相談：７社９件

・申請支援：３社４件

※戦略的基盤技術高度化支援事業（国・サポイン事業）、医療機器産業基盤強化推進事業助成金（静岡県）、新産業創出事業費補助金（浜松市）、新技術開発助成（市村清新技術財団）等

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和２年度※1	令和３年度※2	令和３年度
研究開発型補助金申請件数	２件	３件	３件

※1：令和３年３月末日時点、※2：令和４年３月末日時点

15 はまつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,000 円（予算額 500 千円） ＜財団自主＞

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【年度総括】

令和３年度も、医工連携拠点の事業運営委員会で決定された事業計画に基づき、「医

工連携スタートアップ支援事業（新規医工連携プロジェクト補助事業）」の公募、フォーラムの開催等の各種事業を実施した。また、定期的に医工連携拠点ワーキング会議を開催し、情報共有及び関係機関の連携を通じて企業間マッチングの促進を図った。

令和4年度も、引き続き企業間マッチング支援の強化を図り、地域企業の医療機器産業への参入拡大に繋げる活動を推進していく。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活動計画を実現するため、当財団から3名の職員を浜松医科大学内に事務局を置く「拠点」に派遣し、提案機関の一つとして活動を支援した。

(1) 医工連携ワーキング会議

開催日：令和3年4月20日（火）、6月15日（火）、9月21日（火）、11月16日（火）、令和4年1月18日（火）、3月15日（火）

会 場：浜松医科大学 医工連携拠点棟

参加者：浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、静岡県、浜松市 他

(2) メディカルイノベーションフォーラム 2021

開催日：令和4年2月4日（金）

会 場：WEB 開催

講 師：デジタルハリウッド大学大学院 客員教授

アイリス株式会社 共同創業者・取締役副社長 CSO、医師 加藤 浩晃 氏

内 容：医療・ヘルスケアベンチャーに活かすデジタルヘルスの最新動向

参加者：88名（WEB）

16 地域産業活性化支援事業

決算額 124,057 円（予算額 1,300 千円） <財団自主>

【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与することを目的とする。

【年度総括】

本事業においては、静岡県 IoT 活用研究会、浜松市海外経済交流推進事業に参画し、前者では大学との連携による IoT の現場実装講座等、後者では、海外展開及び経済交流に関する施策を実施した。それぞれ、企業支援において重要なテーマとなることから、令和4年度も引き続き、事業への協力・活用を継続していく。また、新型コロナウイルス感染症や国際情勢などが激しく変化する中で、トライアル事業等を検討し、経済動向への迅速な対応を行っていく。

【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する市受託事業や他事業などを補完する施策を実施した。また、わが国の産業や経済構造の急激な環境変化に加えて、多様化する地域経済や地域企業のニーズに迅速かつ効果的に対応する施策の検証を行った。

(1) 浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与する事業

ア 静岡県 IoT 活用研究会連携業務

同研究会は、企業、大学、産業支援機関、行政等が相互に「インダストリー4.0」

をはじめとする事業活動における IoT の活用に関する情報提供や意見交換、交流の場を設置することにより、「事業活動の連携=つながる」をテーマに、経営力の向上やビジネス機会の創出に寄与することを目的としている。当財団は、事務局を担う静岡県経済産業部商工業局をはじめとする 4 つの団体の一つとして、事務局業務をサポートした。

事務局：静岡県経済産業部商工業局、国立大学法人静岡大学、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、（公財）静岡県産業振興財団

<事業計画>

① 静岡県 IoT 活用研究会総会

開催日：令和 4 年 3 月 25 日（金）

場 所：WEB 開催

内 容：令和 3 年度事業報告及び令和 4 年度事業計画

② IoT 活用事例普及事業

・IoT 促進セミナー

開催日：令和 3 年 11 月 12 日（金）

会 場：アミューズ豊田 ゆやホール

内 容：静岡県の中小企業における DX の現状と課題

参加者：37 社 55 名

・IoT 無料相談会

開催日：令和 3 年 11 月 11 日（木）～13 日（土）

会 場：プラサヴェルデ（11 日）、アミューズ豊田（12～13 日）

内 容：展示会にて相談ブースを設け、来場企業の IoT に関する相談対応

③ IoT 大学連携講座（監修：静岡大学 情報学部 峰野 博史 氏）

・わかりやすい IoT を用いた現場実装講座（全 2 回：実習＋成果発表）

開催日：静岡会場／令和 3 年 6 月 22 日（火）、9 月 8 日（水）

浜松会場／令和 3 年 9 月 16 日（木）、12 月 10 日（金）

沼津会場／令和 3 年 12 月 17 日（金）、令和 4 年 2 月 24 日（木）

会 場：静岡県工業技術研究所、浜松工業技術支援センター、沼津工業技術支援センターの各 IoT 推進ラボ セミナー室

内 容：IoT について実機を用いた体験研修で基礎を学び、セットアップ機器を自社工場で実証し、導入成果を発表

受講料：17,160 円 ※機器代

参加者：静岡会場／10 社 10 名（定員：10 名）

浜松会場／8 社 8 名（定員：10 名）

沼津会場／8 社 8 名（定員：10 名）

④ 個別支援

令和 2～3 年度の大学連携講座の受講企業に対し、個別支援を実施する。

⑤ 展示会出展

中小企業への IoT 普及を目的に、地域で行われる展示商談会へブースを設け出展する。

<磐田会場>

開催日：令和 3 年 11 月 12 日（金）～13 日（土）

会 場：アミューズ豊田

＜沼津会場＞

開催日：令和3年11月11日（木）

会 場：プラサヴェルデ

イ 海外経済交流推進事業（協議会副会長：財団事務局長）

浜松市、ジェトロ浜松、浜松商工会議所と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に対して負担金を支払うとともに、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

- ・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出：100 千円
- ・海外経済交流推進協議会：令和3年5月14日（金）
- ・海外ビジネスセミナー（タイ、ベトナム、インドネシア、他）※WEB
- ・MOU 締結機関との意見交換会 など

ウ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新規取組を実施するとともに、関係機関との連携を図った。

(2) 国等の最新動向などに対応したトライアル事業

国等の動向及び地域経済や地域企業のニーズに対応する迅速かつ効果的な支援施策を模索するため、関東経済産業局をはじめとする各機関との連携を密に情報収集するとともに、地域企業に対して新型コロナウイルス感染症に関する施策等の案内を行った。

17 フォトンバレーセンター事業

決算額 99,681,244 円（予算額 106,370 千円） ＜県・8市町負担金＞

決算額 49,321,040 円（予算額 50,000 千円） ＜A-SAP 特定資産＞

決算額 880,000 円（予算額 1,250 千円） ＜企業負担金＞

【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラスターの形成を目指す。

【年度総括】

令和3年度事業については、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、集合型での事業実施が困難であったため、人材育成講座「B-LABO」や静岡県西部8市町と共催の「参入啓発セミナー」をはじめとする各種セミナーは、オンラインによる配信を積極的に活用することで受講機会を確保し、地域企業の支援に努めた。

展示会出展支援では継続的に出展している「OPIE'21」・「産業振興フェア in いわた」がリアルな形式で開催されたのを機に、フォトンバレーセンターの支援する地域企業は、出展ブースを通じて各社の技術や製品を広く PR することが出来た。

A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業について、第8期から第11期の4回の募集に対して24社24件の応募があり、そのうち10件を採択した。採択予定していた14件には至らなかったものの、県内の金融機関や商工会議所・商工会などの産業支援機関に A-SAP プロジェクトを理解してもらうための説明会を複数回開催する

など、地域企業への窓口機能強化を図った。

令和4年度は、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を一層推進するため、A-SAPや補助金事業、既存のセミナーを行いながら、新たに「ひかり塾」を実施し、企業の課題解決と光・電子技術の応用をマッチングする人材を育成することで、企業が光・電子技術を導入する機会をさらに推進していく。また、引き続きオンラインを活用した取組みを継続するなど、令和3年度に得たノウハウを活用しながら地域企業に対し利便性の高いサービスを提供していく。

【実施内容】

フォトンバレーセンターは、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、入口から出口までを一貫して支援する体制を構築した。

この体制の下、大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

(1) ビジネスマッチング事業

ア コーディネート事業

・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
26	303	55	21	34	29	206	674

・技術分野別件数

光・電子	次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	その他	合計
444	7	37	6	—	11	1	42	1	3	122	674

・地区別支援企業数

西部								中部 東部	県外	合計
浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町			
83	4	6	8	6	5	2	1	58	27	200

イ 参入啓発セミナー

これまで光・電子技術を活用したことがない企業に対し、その有用性を理解してもらい、企業における既存産業の課題解決及び新規事業展開等に関するセミナーを開催した。

・〔浜松市〕モノ作りの可能性を照らす、光の活用成功セミナー

開催日：令和4年2月21日（月）

会 場：WEB開催

講 師：NTT先端集積デバイス研究所 所長 岡田 顕 氏

（株）日本スポーツ科学（浜松市中区）取締役副社長 武田 到範 氏

サクラ工業株式会社（浜松市東区）先行開発PJ 主任 西原 和宏 氏

内 容：NTTが推進するIOWN構想に向けた取り組み

ーフォトニクスとエレクトロニクスが創出する豊かな社会ー

浜松地域企業における光の活用成功事例紹介

参加料：無料

参加者：23名（定員：30名、申込：21名）

- ・〔磐田市〕 静岡県の中小企業における DX の現状と課題
開催日：令和 3 年 11 月 12 日（金）
会 場：アミューズ豊田 ゆやホール
講 師：ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー 阪口 瀬理奈 氏
内 容：DX・Society5.0 とは何か、静岡県内のデジタル化の事例、課題と対策・DX 人材の育成
参加料：無料
参加者：45 名（定員：50 名、申込：55 名）
- ・〔掛川市〕 照明技術の基礎知識と目視検査への活用セミナー
開催日：令和 4 年 2 月 8 日（火）
会 場：WEB 開催
講 師：静岡県工業技術研究所 照明音響科 田代 知範 氏
シーシーエス㈱ 稲本 祐司 氏
内 容：LED を主とした照明光源の基礎特性、目視検査用照明装置の現状とそのトレンド
参加料：無料
参加者：41 名（定員：35 名、申込：32 名）
- ・〔袋井市〕 活用事例・概念が分かる！ IoT・AI 入門セミナー
開催日：令和 4 年 3 月 11 日（金）
会 場：月見の里学遊館
講 師：静岡理工科大学 情報学部 教授 富樫 敦 氏
内 容：巷の IoT・AI って何？その IoT・AI で何ができるの？その事例は？
参加料：無料
参加者：9 名（定員：35 名、申込：12 名）
- ・〔湖西市〕 検査に活用できる画像処理技術の基礎セミナー
開催日：令和 3 年 10 月 1 日（金）
会 場：WEB 開催
講 師：静岡大学 工学部 教授 大橋 剛介 氏
シーシーエス㈱（京都府京都市） 油井 大悟 氏
内 容：画像処理を用いた検査の自動化とその課題、AI 画像外観検査の導入事例と装置化プロセスのご紹介
参加料：無料
参加者：65 名（定員：50 名、申込：77 名）
- ・〔御前崎市〕 モノづくりを変える！イチから学ぶ「ひかり」の活用入門
開催日：令和 4 年 1 月 18 日（火）
会 場：御前崎市文化会館 大研修室
講 師：講演 1／光産業創成大学院大学 学長 瀧口 義浩 氏
講演 2／豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 中内 茂樹 氏
内 容：講演 1／ひかりはどう使えばいいの？入門編
講演 2／ひかりを使った食品品質検査
参加料：無料
参加者：18 名（定員：30 名、申込：22 名）
- ・〔菊川市〕 中小企業が注目した技術 製造現場を見渡す「デジタル化」の今
開催日：令和 3 年 10 月 29 日（金）

会 場：菊川商工会 大会議室+WEB

講 師：名倉 IT 経営研究所・中小企業診断士事務所（掛川市）

代表 名倉 真史 氏

BASIC 代表 菅原 基 氏

内 容：製造現場を見渡す「デジタル化」の今

映像でエンパワーする製造現場、生産プロセス、人材育成

参加料：無料

参加者：会場 1 名・WEB36 名

（定員：会場 15 名・WEB50 名、申込：会場 2 名・WEB36 名）

- ・〔森町〕光だから出来る！3次元計測機器を使いこなそう

開催日：令和 4 年 1 月 12 日（水）

会 場：森町総合体育館 森アリーナ+WEB

講 師：講演 1／静岡大学 工学部 准教授 小林 祐一 氏

講演 2／静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

機械電子科科长 渥美 博安 氏

講演 3／㈱プロノハーツ（長野県塩尻市） 中村 泰敏 氏

内 容：講演 1／カメラによる計測原理とロボットへの適用事例

講演 2／製造現場に役立つ非接触計測機器 3 選

講演 3／最新 3 次元計測で簡単に業務改革

参加料：無料

参加者：会場 13 名・WEB39 名

（定員：会場 15 名・WEB30 名、申込：会場 13 名・WEB39 名）

(2) 産学官金連携事業

ア 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
6 月 30 日（水）～7 月 2 日 （金）（パシフィコ横浜）	OPIE'21 レーザーEXPO	4 社
出展支援企業：ソフトワークス㈱（浜松市中区）、ノブオ電子㈱（浜松市西区）、 パルステック工業㈱（浜松市北区）、㈱分光応用技術研究所（浜松市中区）		
来場者数	7,256 名	

イ 広報発信事業

①広報媒体の作成及び運用

a 新規パンフレット作成

発 行：令和 3 年 6 月

発行部数：2,000 部

b ホームページ

海外企業および海外の産業支援機関などに向けて、A-SAP の周知と実施事業の成果紹介を行うため、令和 4 年 3 月に英語版のページを新たに構築した。

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取り組み及び光・電子技術の有用性や有望性を発信す

るため、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展した。

・第11回産業振興フェア in いわた

開催日：令和3年11月12日（金）～13日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

主 催：磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会

内 容：次世代技術で産業構造の転換をテーマに、広域交流による地域企業の新産業・新事業創出を目的として、展示商談会を開催。フォトンバレーセンターは本展示会にブースを設け、光・電子技術の活用性などを来場者にPRする。 ※センターブース内出展企業：(株)浜松パルス（浜松市北区）、(有)アステック開発（浜松市北区）

出展企業：約90社

来場者：2,500名

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

画像検索等をテーマに、すでに光・電子技術を取り入れているものづくり企業向けにセミナーを開催した。

・第1回「レーザーが拓く新しい加工技術」

開催日：令和3年10月15日（金）

会 場：グランドホテル浜松+WEB

講 師：中央大学 研究開発機構 フェロー 新井 武二 氏

内 容：レーザー加工装置の最新状況や新しい加工法について

参加料：無料

参加者：会場2名・WEB37名

（定員：会場20名、オンライン50名、申込：会場2名・WEB37名）

・第2回「目視検査の常識を覆す！『周辺視目視検査法』入門」

開催日：令和4年2月4日（金）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止

会 場：グランドホテル浜松

講 師：周辺視目視検査研究所 代表 佐々木 章雄 氏

内 容：周辺視目視検査法の理解、周辺視目視検査法の導入方法、見逃し原因となる検査対象物と光源（検査用照明）の関係、事例紹介

参加料：無料

参加者：一名（定員：70名、申込一名）

エ 健康機器分野新規参入・薬機法関連セミナー

※はままつ医工連携拠点と共同開催

はままつ医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナーを実施した。

<はままつメディカル塾（全5回）>

・第1回「わかりやすい医療機器と薬機法（入門編）」

開催日：令和3年9月17日（金）

会 場：WEB開催

講 師：浜松地域新産業創出会議 アドバイザー（医工連携担当）

経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

参加者：53名（定員：各40名、申込：53名）

- ・第2回「医療機器産業への参入の実際と課題及び業許可等」
開催日：令和3年10月8日（金）
会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター
講 師：浜松地域新産業創出会議 アドバイザー（医工連携担当）
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏
参加者：41名（定員：各40名）
- ・第3回「医療機器の品質マネジメントシステムと QMS 省令の構築」
開催日：令和3年11月5日（金）
会 場：①アクトシティ浜松 研修交流センター＋②WEB 開催
講 師：浜松地域新産業創出会議 アドバイザー（医工連携担当）
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏
参加者：①12名、②23名（定員：各40名）
- ・第4回「医療機器の開発におけるリスクマネジメント」
開催日：令和3年12月10日（金）
会 場：①アクトシティ浜松 研修交流センター＋②WEB 開催
講 師：浜松地域新産業創出会議 アドバイザー（医工連携担当）
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏
参加者：①13名、②22名（定員：各40名）
- ・第5回「医療機器の認可等の申請と不具合対応」
開催日：令和4年2月18日（金）
会 場：WEB 開催
講 師：浜松地域新産業創出会議 アドバイザー（医工連携担当）
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏
参加者：38名（定員：各40名）

オ ビジネスプロデュース力養成ラボ（B-LABO）2021

モノ・コトづくりを事業化し、産業として活性化を担う人づくりを進めるため、イノベーションマインドを持ち、事業化に向けた構想を作り上げることができる人材を養成した。

<①ゼミナール編（ワークショップ）、②早わかり講座編（講座）>

開催日：令和3年8月20日（金）～11月26日（金）

会 場：WEB 開催

内 容：①ゼミナール編（全8回）／ワークショップ形式により、イノベティブな新規事業を創り出すため価値創造を議論する
②早わかり講座編（全7回）／早わかり講座として、ビジネスに必要な知識を習得する

対象者：県内企業の中堅層を担う方、これからビジネスを担っていく方

受講料：①50,000円、②10,000円

参加者：①4社8名、②10社17名（定員：各25名）

<成果発表会 ※ゼミナール編第8回>

開催日：令和3年11月26日（金）

場 所：WEB 開催

参加者：16名

カ 浜松ひかり塾

文系人材を対象として、光技術に関する初歩的な知識や応用例に関する知識を習

得し、地域企業の課題とのマッチングを行える人材を養成した。

<トライアル>

開催日：令和3年7月2日（金）

会 場：静岡県産業経済会館

講 師：フォトンバレーセンター 技術コーディネーター

内 容：光関連産業の拡がり、身近な光の性質、光技術の応用、フリートーキング

参加料：無料

参加者：20名（定員：20名程度）

キ ひかりと遊ぼう「キラピカラボ 2021」

子どもたちが光に興味を持ち、理解を深めることで、将来的に光を活用したものづくりに携わる人材を育成するイベントを開催した。

開催日：令和3年11月27日（土）

会 場：浜松科学館

内 容：3部制要予約イベント（小学校中学年向け）

参加料：無料

参加者：23家族・67名（定員：15名×3回）

(3) 技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を活用し、製品開発に向けた試作品の製作や基幹部品の開発に対する補助事業を実施した。

ア 光・電子活用チャレンジ事業費補助金

公募期間：[1次] 令和3年4月1日（木）～令和3年5月31日（月）

：[2次] 令和3年6月28日（月）～令和3年7月28日（水）

対象事業：光・電子技術を活用した製品、製品化に向けた試作品及び基幹部品の製作又は光・電子技術を活用した製品の市場導入に向けて実施する評価・試験、改良を行う事業

補 助 率：1/2

補 助 額：上限2,000千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託・評価分析費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

事業期間：交付決定日～令和4年2月28日（月）

申請件数：[1次] 7件

：[2次] 2件

採択件数：[1次] 5件

：[2次] 2件

交付決定額：[1次] 6,180,000円（5件）

：[2次] 1,617,000円（2件）

交付確定額：[1次] 5,349,000円（5件）

：[2次] 1,439,000円（2件）

<交付企業一覧（1次）>

（単位：円）

1	企業名	㈱浜松パルス（浜松市南区）	確定額	1,513,000
	[事業名] 光触媒を使った農産物鮮度維持装置（フレッシュ・エアーⅡ）の機能強化事業			
	[成果と今後] 光触媒装置のプロトタイプからファン、電源装置、フィル			

	ター部分を改良し、コントロール性、静粛性、安全性、整備性の向上を図った。また、この改良型試作機を 10 台作成し、パン、ミカン、トマト等の食品や貯蔵施設で試験等を行い期待した効果を得ることができた。今後は量産テストを行い、製品販売を目指していく。		
2	企業名	(株)スカイロジック (浜松市北区)	確定額 940,000
	[事業名] 良品学習による AI (ディープラーニング) 画像処理システムの開発 [成果と今後] 不良品の学習 (欠陥の学習) を必要としない、良品学習による製品の欠陥を検知できる AI (ディープラーニング) 画像処理システムを開発し、製品化した。		
3	企業名	シナジーオプトシステムズ(株) (浜松市西区)	確定額 2,000,000
	[事業名] シリコンフォトニクス光導波路用光パラメータアナライザの開発 [成果と今後] シリコンフォトニクスの測定に向け、光導波路出力端での導波路コア発光サイズ計測機能、光導波路出力端での導波路コア発光発散角度計測機能、光導波路の偏光依存性測定装置の開発を行い、光導波路用光パラメータ解析装置を製品化した。		
4	企業名	ノブオ電子(株) (浜松市西区)	確定額 453,000
	[事業名] 昆虫用分光照度計の性能と市場性の検証 [成果と今後] 害虫防除に活用可能な昆虫用分光照度計を 5 台製造し、浜松医科大学及び九州大学において評価試験を実施した。期待した成果が出たため、今後販路を開拓し販売をしていく。		
5	企業名	(株)分光応用技術研究所 (浜松市中区)	確定額 443,000
	[事業名] LED 点灯方式による分光イメージング機器の基礎技術開発 [成果と今後] 高速分光画像測定及び高解像度の分光画像測定が可能となった前分光方式の LED 点滅方式分光イメージング測定装置が完成した。開発済みである分光イメージングユニットと光ファイバを用いた皮膚の内部構造及び内部情報を捉える空間分解分光法装置と皮膚の拡散反社特性を測定できるポータブル分光ゴニオフォトメータ装置を組み合わせ、複合的な肌・生体情報を調査する装置を開発していく。		
合計			5,349,000

< 交付企業一覧 (2 次) >

(単位 : 円)

1	企業名	(株)オプトメカエンジニアリング (浜松市浜北区)	確定額 374,000
	[事業名] 高出力紫外 LED 光源と紫外光均一照明装置の開発 [成果と今後] 高出力 LED を使って、「高出力紫外 LED 光源」を製作した。また、この光源を使用し、一定の範囲を均一に照射する紫外光均一照明装置の製作を行い、製品化した。		
2	企業名	(株)ゼロワン (浜松市中区)	確定額 1,065,000
	[事業名] 空間モニタリングシステムを構成する IoT 空気環境センサのプロトタイプ制作と実証実験による LiDAR センサとの連携検証及び仕様の確定 [成果と今後] 3D デジタルツインに LiDAR センサ及び IoT 空気環境セ		

	ンサから取得したデータを連携させることで、空間内の人数や位置、動線や空気環境を可視化しクラウドで情報提供を行う空間モニタリングシステムを連携検証し、仕様を確定することができた。今後、市場導入を行いながら、改善を図っていく。
合計	1,439,000

(4) 世界的ネットワーク構築支援事業

ア 海外クラスターとの連携事業

<Photonics in Hamamatsu and in Japan>

ドイツ・ベルリンの連携先 Berlin-Partners/OptechBB が、令和 3 年 10 月 4～7 日に開催予定のワークショップに対し、浜松地域の活動・企業紹介や技術開発動向を報告するオンライン方式の連携セッションを設ける事となり、JETRO 浜松（ベルリン）・光産業創成大学院大学・浜松ホトニクス㈱と連携して令和 3 年 10 月 5 日（火）に実施した。

<共催事業：光産業創成大学院大学公開講座「to revive our entrepreneurship」>

昨年度開催した公開講座を日本語版としてフォトンバレーセンターYouTube チャンネルで公開

実施日：令和 3 年 7 月 1 日～8 月 31 日公開

事前申込者：86 名

・第 1 回 ※令和 3 年 1 月 15 日（金）

講 師：Thomas M. Baer 氏

（米スタンフォード大 フォトニクスリサーチセンター エグゼクティブディレクター）

内 容：持続可能なイノベーションを起こすための環境構築について

・第 2 回 ※令和 3 年 1 月 28 日（木）

講 師：Richard Oberreiter 氏（米 Modulim 社 前 CEO）

内 容：アイデアの実現に向けて

・第 3 回 ※令和 3 年 2 月 15 日（月）

講 師：Paul Blackborow 氏（米 Energetiq Technology 社 元共同創業者）

内 容：2 つのスタートアップ物語

<共催事業：光産業創成大学院大学バイオフィotonicsデザイン公開講座>

オンライン配信による本公開講座「Let's Revive Our Entrepreneurship」を光産業創成大学院大学と共催

・第 1 回 令和 4 年 2 月 3 日（木）

講 師：Amaan Mazhar 氏

（Modulim 社開発責任者）

内 容：医療機器製品のニーズ情報収集戦略

・第 2 回 令和 4 年 3 月 2 日（水）

講 師：Charlie Huiner 氏（Modulim 社社長）

内 容：新医療機器スタートアップへの挑戦と対価

・第 3 回 令和 4 年 3 月 25 日（金）

講 師：Yosi Shacham-Diamand 氏（テルアビブ大学教授）

内 容：イスラエルのスタートアップ事情（産学官と共に）

イ 海外マッチング支援事業

・海外展示会への出展

＜TAIWAN INNOTECH EXPO 2021＞

開催日：令和3年10月14日（木）～23日（土）

会 場：WEB開催

内 容：台湾企業とのネットワーク構築や販路開拓につなげる目的で地域企業と共同出展する。

出展企業：0社 ※新型コロナウイルス感染症の影響により不参加

ウ 浜松市国際見本市出展支援

浜松市事業の「Photonics West 2022」出展について、浜松市国際見本市出展ブース運営委員会「Photonics West」部会への参加を行い、出展企業のサポートを実施する。

開催日：令和4年1月25日（火）～27日（木）

会 場：アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ モスコーンセンター

※新型コロナウイルス感染症の影響により、浜松市出展中止

(5) A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

国内初の産学連携スキームを構築し、企業の課題解決のためのプロジェクトチームを外部の専門家や企業等で結成して、光・電子技術の活用により早期の課題解決を支援する。

- 対象事業：(1) 新製品の開発に向けた試作品の製作
(2) 新製品・サービスの開発に向けた設計
(3) その他センターが認めるもの

委託金額：1プロジェクトあたり上限500万円（6ヶ月）

・第6期

公募期間：令和2年5月15日（金）～5月31日（日）

申請件数：10社13件

事業期間：令和2年10月～令和3年3月・4月・5月

採択件数：4社4件

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	サンファーム中山(株)（袋井市）	委託額	4,999,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 夜間野菜収穫用人工太陽光照明システムの試作開発			
	[成果と今後] 夜間ハウス内で試作品の照明センサー付きヘッドライトを用いて、トマトの収穫時期を適切に判別できることを確認した。			
2	企業名	(有)アステック開発（浜松市北区）	委託額	4,980,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 金属特性非破壊測定システム開発			
	[成果と今後] 交流磁気特性の差異を利用した新しい材料を用いたプローブを試作して、非破壊で硬さの異なる金属の判別を実証した。今後、測定製品の多品種に対応した新システムを製品化する。また、金属特性非破壊検査システム製品の自社製品として自社販売を事業に組込んでいく。			
3	企業名	羽立化工(株)（湖西市）	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名] 省人力、工程短縮、高品質化による競争力向上が可能なバリ取り技術開発			

	[成果と今後] ロボットアーム取り付けに適している中赤外線ファイバーレーザーと製作したレーザー切断ユニットを用いて、対象とする樹脂成形品のバリ取りを目標時間内に達成することが出来た。今後は光源入手とレーザーユニットを既存のロボット可搬システムへの組み込みと試験の開始を経て、生産工程への組み込みに進めていく。			
4	企業名	(有)サシペレレジャパン沼津支店（沼津市）	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー		光産業創成大学院大学	
	[プロジェクト名] LED 光鍼灸の有効性のエビデンス取得			
	[成果と今後] LED 光鍼灸の安全性を確認し、生理学的な指標にも影響が少ないことを示唆するデータも得て、光鍼灸の計測技術の探査と臨床研究実施について有効性の実証をした。今後は制御用アプリや外部デバイスと連動した「LED 鍼灸器」機器の開発に取り組んでいく。			
合計				19,919,000

・第7期

公募期間：令和2年8月15日（土）～8月31日（月）

申請件数：13社14件

事業期間：令和2年12月～令和3年5月

採択件数：2社2件

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	(有)クロマニヨン (浜松市中区)	委託額	4,963,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 誰でも使える非対面型対話インターフェイス			
	[成果と今後] カメラからユーザーの性別と年齢を推定し、音声で症状を入力すると音声認識し、その認識結果からシステムの応答発話を選択し映像で応答を行うことで、所定の科の受診を提示する問診システムを予定通り開発することができた。2022 年 10 月より (A I 問診システム含む) 業務支援型対話サービスの販売開始予定である。			
2	企業名	サクラ工業(株) (浜松市東区)	委託額	4,999,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] ネットワーク構造触媒の開発			
	[成果と今後] 新素材セルロースナノファイバー (CNF) の添加による二輪・四輪に使用されるエンジン排気ガス浄化触媒スラリーの安定性向上を確認することができた。今後は CNF 利用での排気通路ネットワーク構造を形成することにより、二輪・四輪の排ガス浄化効率に関係する排ガス浄化効率向上・劣化耐久性能向上へ繋げていく。			
合計				9,962,000

※上記2案件以外に採択後の辞退が1件あり。

・第8期

公募期間：令和2年11月1日（日）～11月15日（日）

申請件数：8社8件

事業期間：令和3年4月～9月

採択件数：3社3件

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	安間製茶 (袋井市)	委託額 4,979,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学	

	[プロジェクト名] ハンディ型非破壊茶葉分析機器の開発			
	[成果と今後] 茶葉の摘採最適期を知るための、屋外で使えるハンディ型非破壊茶葉分析機器を開発した。また、試作機と換算式で、茶葉中の繊維量および全アミノ酸量を計測することを可能とした。今後は改良試作を重ねながら、2024 年 3 月の製品市場投入を目指していく。			
2	企業名	(株)フィットメトリクス（浜松市南区）	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名] 植物三次元計測装置のプロトタイプ開発			
	[成果と今後] 直径 10cm×高さ 30cm 程度の大きさの植物について、3 次元形状情報と色彩情報を同時に計測する装置「植物三次元計測装置」のプロトタイプを開発し、葉を 1 枚毎に識別可能な 3 次元点群データを出力する機能を実現した。今後は市場投入モデルの開発を行い、2022 年内の市場投入を目指していく。			
3	企業名	(株)イハラ製作所（浜松市北区）	委託額	4,980,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] トロコイド式ウォーターポンプ駆動用モータ設計・試作			
	[成果と今後] 大型二輪車エンジン冷却用のトロコイド式電動ウォーターポンプを成立させるために、指定された運転条件において高い効率で駆動できるモータの設計・試作を行い、目標に掲げた出力値を確認できた。今後は既存取引先に対して、二輪車エンジン冷却用電動ポンプとして提案し、受注確定後 3 年（大型二輪車の新規モデル開発の際の通常開発期間）を目処に該当機種用のポンプとして専用設計・製品化していく予定である。			
合計				14,959,000

・第 9 期

公募期間：令和 3 年 2 月 15 日（月）～2 月 28 日（日）

申請件数：4 社 4 件

事業期間：令和 3 年 8 月～令和 4 年 1 月

採択件数：3 社 3 件

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	ユニオプト(株) (湖西市)	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	宇都宮大学		
	[プロジェクト名] フラットパネル材料のための可視超広帯域光源の開発			
	[成果と今後] フラットパネルディスプレイに使用するガラス基板の製造工程で発生する歪（残留応力）を高速で計測するため、超広帯域可視光（450-1000 nm）、出力 5 mW の多波長ファイバーレーザ光源と所定波長のシングルショット 1 秒以下、1 nm 以下の複屈折位相差の計測法アルゴリズムを開発した。今後は多機能化する市場ニーズにフレキシブルに対応できる製品を開発目標として進めていく。			
2	企業名	(株)アイゼン (浜松市南区)	委託額	4,994,600
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名] ショットピーニング処理技術の開発			
	[成果と今後] 自動車電動化に伴う車両軽量化のための部品強度向上ニーズに有効なショットピーニング（SP）処理の基本技術を確保し、更にオリジナル新 SP 技術のシーズ検討を行った。今後はオリジナル新 SP の技術開発を続け、量産技術の確立も伴いながら、新規部品の市場投入を			

	2027 年以後に行う予定である。			
3	企業名	(株)アラキエンジニアリング (浜松市中区)	委託額	4,525,440
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] ロボット用複合現実オフラインティーチング技術の開発			
	[成果と今後] バリ取りロボット用「複合現実を用いたダイレクト・オフラインティーチングシステム」を開発することを目指し、回転型光学式スキヤニング装置による対象ワークの形状採取と三次元データとしての再構成、バリ形状データの明確化、現物ワークと仮想情報の複合現実デバイス上での正確な重ね合わせ、工具型プローブを用いた手技の教示システムのすべてを実現することに成功した。今後は引き続き、静岡大学と連携し、2025 年以降の製品販売に向けて研究継続を行っていく。			
	合計			14,460,040

・第 10 期

公募期間：令和 3 年 5 月 15 日（土）～5 月 31 日（月）

申請件数：7 社 7 件

事業期間：令和 3 年 11 月～令和 4 年 5 月《予定》

採択件数：2 社 2 件

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	(株)アマノ（磐田市）	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	静岡県立大学		
	〔プロジェクト名〕 内視鏡消毒剤の簡便かつ高感度な定量法開発			
	〔成果と今後〕 プロジェクト実施中			
2	企業名	アート電子(株)（浜松市北区）	委託額	4,800,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	〔プロジェクト名〕 DFB 構造による 5～7μm 可変波長型レーザーの開発			
	〔成果と今後〕 プロジェクト実施中			
合計				9,800,000

・第 11 期

公募期間：令和 3 年 8 月 15 日（日）～8 月 31 日（火）

申請件数：5 社 5 件

事業期間：令和 4 年 1 月～7 月《予定》

採択件数：2 社 2 件

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	(株)オリエンテック（富士市）	委託額	4,920,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	〔プロジェクト名〕 道路規制区間におけるラバーコーン設置・回収装置の開発			
	〔成果と今後〕 プロジェクト実施中			
2	企業名	(株)村松製作所（浜松市中区）	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	〔プロジェクト名〕 光誘起プラズマによる硬質クロムメッキへの着色技術確立			
	〔成果と今後〕 プロジェクト実施中			
合計				9,860,000

・第12期

公募期間：令和3年11月1日（月）～15日（月）

申請件数：3社3件

事業期間：令和4年4月～9月《予定》

採択件数：採択なし

(6) 静岡県中小企業制度融資及び新規・地域産業立地事業費補助金

静岡県の依頼に対し、成長分野（フォトンバレープロジェクト）に該当するか否かについて、フォトンバレーセンターの内規に基づき審査した。

ア 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進した。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：3件 280,000千円 ※令和2年度実績：1件 25,000千円

イ 新規・地域産業立地事業費補助金

県内で製造工場や物流施設等を新設・増設する企業の設備投資に対して静岡県が助成を行うことにより、国内外からの新たな企業の誘致や県内企業の定着を促進した。

補助対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

認定件数：1件 ※令和2年度実績：2件

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
相談件数	1,079件	674件	1,500件
地域企業の製品開発件数	6件	8件	5件
「光・電子技術活用補助金※3」採択件数	6件	7件	5件
A-SAP※4申請件数	39件	24件	20件
A-SAP※4採択件数	10件	10件	12件
技術ニーズマッチング社数	12社	0社	16社
商談成立件数	5件	0件	5件

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

※3：光・電子活用チャレンジ事業費補助金

※4：産学官金連携イノベーション推進事業（第8期～第11期）

18 次世代自動車センター事業

決算額 92,000,000 円（予算額 99,000 千円）	＜静岡県・浜松市負担金＞
決算額 1,270,996 円（予算額 1,894 千円）	＜財団自主＞
決算額 4,746,000 円（予算額 4,000 千円）	＜会員会費＞
決算額 8,376,436 円（予算額 9,000 千円）	＜国補助＞
決算額 2,996,400 円（予算額 2,997 千円）	＜静岡県委託＞

【目的】

近年加速する自動車産業の技術革新（EV 化や自動運転化等）に伴うビジネス環境の変化に対応するため、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する。

【年度総括】

令和 3 年度は、これまでと同様、実践的な事業を 45 回実施し、延べ 2,163 社・4,068 名が参加した。また、全会員企業中、「1 回も事業に参加していない」企業比率について、前年度は 51%（178 社/349 社）であったが、今年度は 30%（127 社/427 社）となり、会員企業ごとに平均事業参加回数も 1.7 回から 4.4 回へと大幅に増加した。これらのことは、当センターが実施してきた事業に対する評価と期待の表れであると捉えている。なお、会員企業の技術力・提案力向上につなげる取り組みとして重視している「試作部品製作委託」についても各担当技術コーディネーターによるフォローのもと、7 社が取り組んだ。さらに、デジタルものづくりの観点から、3D プリンタ等を活用した試作部品製作委託事業に 1 社が挑戦した。

また、「デジタルものづくり」に関して、完成車メーカーが会員企業の技術指導を行うスキームを 2 件確立させ、中小企業の人材育成に寄与するとともに、「デジタルものづくり人材」確保につながる手段として、静岡大学の学生 2 名に会員企業でのインターンシップを経験してもらう取り組みについても実施した。さらに、会員企業の固有技術に着目した技術マッチング活動については、対象 14 件中、12 件について成立するなど、高い確率でのマッチング成果が得られた。

令和 4 年度についても、これまでの取り組みを継続しながら、カーボンニュートラル対応やデジタルものづくりへの対応等、社会状況を踏まえつつ事業を企画し、地域中小企業支援につなげていきたい。

【実施内容】

地域中小企業が次世代自動車に搭載される部品を開発するための 5 つの支援（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づく事業を展開し、会員企業の技術開発支援やマッチング支援を行った。

＜会員制度＞

- ・会員企業：427 社 ※令和 4 年 3 月末時点
[県西部地域] 229 社、[県西部地域外] 198 社
[中小企業] 326 社、[大手企業] 101 社
 - ・入会資格
 - ①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業
 - ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業
 - ③当センターの事業に賛同する企業 等
- 年会費：12,000 円（税込） ※10 月以降に加入の場合 6,000 円（税込）

<事業展開> ※基本的に会員企業が対象

(1) 技術啓発

ア 次世代自動車センターフォーラム ※非会員企業も対象

開催日：令和3年4月26日（月）

会 場：WEB 開催

講 師：次世代自動車センター センター長 望月 英二

経済産業省 製造産業局 自動車課長 吉村 直奏 氏

内 容：経済産業省による基調メッセージ、次世代自動車センターの活動報告及び令和3年度の事業計画、中小企業の対応支援における支援機関によるパネルディスカッション 等

参加費：無料

参加者：143社 183名（定員：450回線、申込：115名）

〔県西部地域〕89社 100名、〔県西部地域外〕54社 83名

イ 技術動向講演会 ※非会員企業も対象

開催日：令和3年11月4日（木）

会 場：WEB 開催

内 容：電気自動車における熱マネジメント技術について 等

講 師：次世代自動車センター センター長 望月 英二

マレリ(株)（埼玉県さいたま市）イノベーション技術推進センター

マスターアドバイザー 安岡 正之 氏

参加費：無料

参加者：100社 181名（定員：200回線、申込：181名）

〔県西部地域〕58社 99名、〔県西部地域外〕42社 82名

ウ 試験装置メーカーによる技術動向講演会

開催日：令和4年3月16日（水）

会 場：WEB 開催

講 師：会員企業のうち試験機メーカー4社

内 容：試験装置メーカーによる次世代自動車に関わる車両や部品の評価試験に関する最新技術動向の紹介 等

参加費：無料

参加者：44社 74名（定員：80回線、申込：74名）

〔県西部地域〕20社 45名、〔県西部地域外〕22社 29名

エ 会員企業アンケート調査

<アンケート結果報告会>

開催日：令和3年7月1日（木）

会 場：WEB 開催

内 容：会員企業に対し令和3年2月から3月にかけて実施したアンケート調査結果の報告 など

参加者：59社 68名（定員：200回線、申込 67社 86名）

<アンケート調査>

実施日：令和4年2月～3月

内 容：会員企業の次世代自動車に対する取り組み状況や次世代自動車センターへの要望事項を把握し、その結果を事業に反映することを目的としたアンケート調査を行う

対 象：会員企業

オ 海外イベント視察報告会

＜オンライン視察＞

CES2022

会 期：令和4年1月5日（水）～8日（土）

＜報告書配布＞

開催日：令和4年3月

内 容：希望する会員企業に対し、CES2020 オンライン視察報告書の配布

(2) 技術研鑽

ア 部品ベンチマーク活動及び報告会

・部品分解調査説明会

開催日：令和3年5月20日（木）

会 場：WEB 開催

内 容：部品ベンチマーク活動の一環として、BMW i3、Jaguar I-PACE の電動アクスルや中国のEV用部品（インバーターや車載充電器）等の分解調査に関する説明会

参加者：64社99名（定員：80回線）

・電動パワートレイン比較説明及び会員企業による分解調査結果報告会

開催日：令和3年7月7日（水）

会 場：WEB 開催

内 容：VW e-GOLF、Audi e-tron など、各自動車メーカーにおける電動パワートレインを比較し、その概要を説明。また、分解展示部品の詳細調査・分析を行った会員企業による調査結果を発表

参加者：80社136名（定員：90回線）

・EV四輪車両分解活動

※VW ID.3（令和3年6月11日（金）納車）

＜車両展示説明会＞

開催日：令和3年7月20日（火）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：VW ID.3を展示し、車両等に関する説明

参加費：無料

参加者：37社84名（定員：38社、申込：37社）

＜会員企業試乗会＞

開催日：令和3年10月18日（月）

会 場：交通教育センターレインボー浜名湖

内 容：VW ID.3の試乗会

参加費：無料

参加者：22社49名（定員：25社）

※車両大分解、Eドライブ系部品の分解・基礎調査、分解部品展示・説明会、分解部品の貸出（会員企業による調査・解析）、報告会 等

イ 製造現場見学会

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

ウ 開発現場見学会

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

(3) 技術創造

ア 次世代自動車関連部品の試作実習・技術開発・共同開発プロジェクト

<第1回>

公募期間：令和3年6月7日（月）～14日（月）

委託費：上限200万円

応募内容：軽量コントロールケーブルの試作

軽量化の為に超ハイテン（1,180Mpa）材を用いた車体部品の試作

審査会：令和3年7月12日（月）

採 択：3社

<第2回>

公募期間：令和3年7月26日（月）～8月2日（月）

試作内容：①アルミパイプ極小曲げ

②電気自動車用中空モーターシャフト

③浸室焼入れによる高精度ギヤ部品

④軽量及び熱効率改善のためのステンレス鋼板の傾斜穴開け部品

委託費：上限200万円

審査会：令和3年9月9日（木）

採 択：4社

(4) 人材育成

ア ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座

①説明会

開催日：令和3年5月17日（月）

会 場：WEB開催

内 容：自社の固有技術が見える化する「固有技術探索チャート」の作成
方法の説明

参加者：28社48名（定員：10社）

②講座（全2回）

開催日：第1回／令和3年6月29日（火）

第2回／令和3年8月31日（火）

会 場：WEB開催

内 容：自社及び仕入れ先の技術や技能が見える化する手法（探索チャートの作成方法）を学ぶ

参加者：第1回／12社22名（定員：10社）

第2回／8社17名（定員：10社）

イ 開発企業向け固有技術探索基礎講座

①説明会

開催日：令和3年11月8日（月）

会 場：WEB開催

内 容：自社の固有技術が見える化する「固有技術探索チャート」の作成
方法の説明

参加者：10社20名（定員：30名）

②講座（全2回）

開催日：第1回／令和3年12月13日（月）

第2回／令和4年2月4日（金）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室+WEB 開催

内 容：固有技術探索チャートを作成することで自社が持つ技術の棚卸しを行い、固有技術の見える化をサポート。また、個別面談を実施し、固有技術の認識活用を促進

参加者：第1回／3社7名（定員：30名）

第2回／2社5名（定員：30名）

ウ 自動車工学関連講座

<新入社員向け講座（全3回）>

開催日：第1回／令和3年4月23日（金）

第2回／令和3年5月28日（金）

第3回／令和3年6月25日（金）

会 場：WEB 開催

内 容：第1回／自動車部品の製造工場における安全教育

第2回／自動車の構造と製造方法

第3回／製造現場の品質管理

参加者：第1回／42社72名（定員：80回線）

第2回／54社105名（定員：80回線）

第3回／47社99名（定員：80回線）

<若手・中堅社員向け講座（全4回）>

開催日：第1回／令和3年5月11日（火）

第2回／令和3年6月10日（木）

第3回／令和3年9月30日（木）

第4回／令和3年11月10日（水）

会 場：WEB 開催

内 容：第1回／トヨタ生産方式基礎講座（初級）

第2回／トヨタ生産方式基礎講座（中級）

第3回／生産ラインにおける指標管理の基礎と活用のポイント

第4回／IE講座「応用的な分析の活用法」

参加者：第1回／61社117名（定員：75回線）

第2回／72社126名（定員：75回線）

第3回／43社77名（定員：75回線）

第4回／36社62名（定員：75回線）

<モデルベース開発の基礎講座（全2回）>

開催日：第1回／令和3年6月17日（木）

第2回／令和3年7月14日（水）

会 場：WEB 開催

内 容：第1回／スズキ㈱におけるモデルベース開発の取り組みについて

モデルベース開発とは①

第2回／モデルベース開発とは②

参加者：57社241名（定員：各回350回線）

<モデルベース開発の基礎講座ワークショップ編（全3回）>

開催日：第1回／令和3年10月22日（金）

第2回／令和3年11月15日（月）

第3回／令和3年11月30日（火）

会 場：WEB 開催

内 容：第1回／MATLAB/Simulink の概要、経済産業省ガイドライン準拠

モデルの紹介等

第2回／例題、宿題演習の説明

第3回／宿題演習の開設

参加者：4社10名（申込：10名）

<モーター及び電気自動車の基礎講座（全3回）>

開催日：第1回／令和3年7月29日（木）

第2回／令和3年9月15日（水）

第3回／令和3年11月18日（木）

会 場：WEB開催

講 師：第1回／小野塚精機(株)（群馬県高崎市）

代表取締役社長 柳原 健也 氏

第2回／(株)ミツバ（群馬県桐生市） 技監 尾形 永 氏

第3回／次世代自動車センター センター長 望月 英二

内 容：第1回／モーターの基礎

第2回／電気自動車の基礎

第3回／Eアスクルの比較

参加者：64社121名（定員：15社30名、申込：156名）

<振動騒音測定・分析の技術習得講座（全2回）>

開催日：令和3年8月17日（火）、24日（火）

会 場：WEB開催

講 師：豊橋技術科学大学 教授 河村 庄造 氏

内 容：EV車両において高度化が必要となる振動騒音測定技術や分析技術
についての講習及び実験

参加者：32社67名（定員：5社10名、申込：68名）

<自動車の性能及び機能基礎講座（全4回）>

開催日：第1回／令和3年11月11日（木）

第2回／令和3年11月25日（水）

第3回／令和3年12月24日（金）

第4回-1／令和4年1月18日（火）

第4回-2／令和4年2月3日（木）

会 場：WEB開催

講 師：第1回／名古屋大学大学院 工学研究科

教授 水野 幸治 氏

第2回／(公財)ひろしま産業振興機構

統括マネージャー 杉原 毅 氏

第3回／スズキ(株) 四輪車両運動設計部

専門職 刑部 朋義 氏

第4回-1／次世代自動車センター センター長 望月 英二

第4回-2／スズキ(株) 四輪内装設計部

マネージャー 中山 雅弘 氏

内 容：第1回／衝突安全の基礎

第2回／振動騒音の基礎

第3回／サスペンションの基礎

第4回-1／熱マネジメント技術のための熱力学の基礎

第4回-2／電気自動車の熱マネジメント技術の基礎

参加者：第1回／23社32名（定員：50回線）
第2回／43社70名（定員：50回線）
第3回／45社79名（定員：50回線）
第4回－1／56社100名（定員：50回線）
第4回－2／68社128名（定員：50回線）

(5) 販路開拓

ア 先行企業活動報告会

開催日：令和3年10月13日（水）

会 場：WEB開催

内 容：先行開発企業によるスモールプレゼンテーション

参加者：67社108名（定員：300回線）

イ マッチング支援

開催日：通年実施

会 場：各所

内 容：会員企業の大手部品メーカーなどの技術ニーズと固有技術探索チャートに基づく中小企業の技術上の強みを活かしたマッチングを図り、販路開拓へとつなげる

(6) その他

ア 企業訪問・来訪 ※令和4年3月末時点

固有技術探索：14回、先行開発企業：47回、技術ニーズマッチング：16回

試作部品製作委託：19回、ベンチマークルーム：109回、その他：52回

イ 広報

・パンフレットの発行

発行日：令和4年3月

・HPの運用及び改修

ウ 他支援機関等との連携

静岡県内の行政機関、支援機関及び中核企業に対して、次世代自動車センターの概要・事業説明を実施し、会員企業の獲得及び認知向上を図った。

エ サプライヤー応援隊事業（国：中小企業・小規模事業者人材対策事業）

経済産業省の補助事業を活用し、次世代自動車センターの技術CDの知識習得を図るとともに、中小企業等が次世代技術への対応ができるような提案力の向上につなげるための事業を実施した。

・指導育成事業：知識習得のための各種講座等への参加 等

・現場派遣事業：固有技術の棚卸しと活用アドバイス

大手部品メーカー等との技術マッチングの推進 等

補助対象期間：交付決定日～令和4年3月

交付決定額：12,298,969円

交付確定額：8,376,436円

<全国会議>

開催日：令和4年1月（第2回）、2月（第3回）

会 場：WEB開催

内 容：意見交換、事業報告 など

参加者：全国の次世代自動車関連支援センター7機関

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
会員入会企業数	370 社	427 社	— 社
訪問・来訪企業件数 ※延べ件数	272 回	205 回	240 回
＜内訳＞			
・固有技術探索チャート現場指導	19 回	14 回	30 回
・先行企業訪問調査	67 回	47 回	30 回
・技術ニーズマッチング	17 回	16 回	30 回
・試作部品製作委託現場指導	47 回	19 回	50 回
・部品ベンチマークルーム等見学	122 回	109 回	100 回
秘密保持契約締結件数	28 件	29 件	25 件
「固有技術探索活動基礎講座」受講企業数	10 件	19 社	25 社
試作品製作委託契約件数	9 件	7 件	10 件

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

7【拓く】販路開拓支援

19 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 2,680 円（予算額 632 千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松市において製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【年度総括】

本事業では、主に「浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金」の申請受付及び実績報告書の確認等の事務手続を行い、市内企業の販路開拓を支援した。補助金を交付した企業については、アフターフォローとしてヒアリングを実施しており、継続的な支援を実施している。今年度はコロナ禍ということもあり、全体的に来場者数は例年と比較してかなり少ない傾向ではあったが、それぞれ商談や市場ニーズの把握に努め、一部は数百万円の商談が既に成立している。展示商談会は自社の技術、製品を PR する絶好の機会であるため、引き続き補助金の活用による販路開拓を支援していく。

【実施内容】

(1) ものづくり販路開拓事業費補助金（予算：12,000 千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業等に対し、浜松市が出展に要する経費の一部を補助するための準備業務を行った。

公募期間：[1 次] 令和 3 年 4 月 12 日（月）～5 月 31 日（月）

[2 次] 令和 3 年 7 月 1 日（木）から随時募集

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者等。又は、上記に該当するものを 1 者以上含み、研究開発を目的に 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）、500 千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費、動画作成費など

事業期間：令和 3 年 4 月 1 日（木）～令和 4 年 3 月 31 日（木）

ア 国内：[1 次]

申請件数：13 件

採択件数：12 件

交付決定額：2,645 千円（12 件）

出展中止：300 千円（1 件）

交付確定額：2,309 千円（11 件）

※交付決定の内、コロナウイルス感染症の影響による出展中止：1 件

：[2 次]

申請件数：14 件

採択件数：14 件

交付決定額：2,843 千円（14 件）

出展中止：230 千円（1 件）

交付確定額：2,542 千円（13 件）

※うちオンライン展示商談会：2 件

< 交付企業一覧 >

(単位:円)

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	ヘルツ電子(株) (浜松市北区)	第 6 回スマート工場 EXPO	(300,000) ※出展中止
2	(株)ジャパンエコテック (浜松市北区)	国際食品工業展 (FOOMA JAPAN 2021)	200,000
3	(株)丸文製作所 (浜松市中区)	施設園芸・植物工場展 2021	200,000
4	浜松カーボニクス(株) (浜松市中区)	国際ナノテクノロジー展・技 術会議	170,000
5	(株)ハマネツ (浜松市中区)	ハイウェイテクノフェア 2021	200,000
6	(株)YAMADA (浜松市南区)	ウェルネスライフジャパン 2021	139,000
7	澤木工房(株) (浜松市北区)	光とレーザーの科学技術フェ ア 2021	200,000
8	オーム電機(株) (浜松市北区)	IIFES 2020	200,000
9	(株)東洋鐵工所 (浜松市東区)	日本木工機械展・ウッドワン ダーランド 2021	200,000
10	(株)カタナコーポレーショ ン (浜松市北区)	画像センシング展 2021	300,000
11	(株)小林ダイヤ (浜松市東区)	メカトロテックジャパン 2021	200,000
12	シナジーオプトシステム ズ(株) (浜松市西区)	第 21 回光通信技術展 FOE 2021	300,000
合計			2,309,000

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)浅沼技研 (浜松市西区)	第 24 回関西機械要素技術展	200,000
2	(株)ティーアールシー高 田① (浜松市西区)	二次電池展	300,000
3	SHODA(株) (浜松市北区)	日本木工機械展 Mokkiten Japan 2021	200,000
4	ニッコウプロセス(株) (浜松市北区)	飲食店経営強化 EXPO2021	149,000
5	ノブオ電子(株) (浜松市中区)	画像センシング展 2021	149,000
6	(株)鈴一興産 (浜松市南区)	日本木工機械展	192,000

7	㈱ティーアールシー高田② (浜松市西区)	新価値創造展 2021(オンライン)	(230,000) ※出展中止
8	(有)雪山シボリ (浜松市東区)	新価値創造展 2021	88,000
9	㈱SLDS (浜松市東区)	SPORTEC2021	200,000
10	㈱ナユタ (浜松市東区)	病院設備・医療機器 EXPO	300,000
11	(有)アイディール (浜松市西区)	第 10 回インターペット	164,000
12	㈱モールド技研 (浜松市浜北区)	名古屋プラスチック工業展 2021	200,000
13	㈱真誠 (浜松市南区)	メカトロテックジャパン 2021	200,000
14	㈱サイト (浜松市西区)	関東グランドフェア 2021	200,000
合計			2,542,000

イ 海外 : [1 次]

申請件数 : 3 件
採択件数 : 3 件
交付決定額 : 1,750 千円 (3 件)
出展中止 : 一千円 (一件)
交付確定額 : 1,340 千円 (3 件)

: [2 次]

申請件数 : 3 件
採択件数 : 3 件
交付決定額 : 1,230 千円 (3 件)
出展中止 : 一千円 (一件)
交付確定額 : 1,155 千円 (3 件)
※うちオンライン展示商談会 : 1 件

< 交付企業一覧 >

(単位:円)

1 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	㈱オノックスエムティー (浜松市浜北区)	Medical Design & Manufactory WEST 2021	500,000
2	㈱ジーアクト (浜松市浜北区)	Medical Design & Manufactory WEST 2021	365,000
3	仲山貴金属鍍金㈱ (浜松市北区)	Medical Design & Manufactory WEST 2021	475,000
合計			1,340,000

2 次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	古橋織布(有) (浜松市西区)	E-Milano Unica Connect 2022 AW	155,000
2	㈱オノックスエムティー (浜松市浜北区)	COMPAMED 2021	500,000

3	(株)ジーアクト② (浜松市浜北区)	COMPAMED 2021	500,000
合計			1,155,000

(2) 海外進出サポート事業

浜松市が企画する海外見本市の共同出展に対し、出展企業の海外展開における販路開拓や事業拡大に係るサポートをジェトロ浜松と連携し、アドバイス等を行った。

＜浜松市ブースを出展する国際見本市＞

ア COMPAMED 2021（医療） ※事業推進部対応

会期：令和3年11月15日（月）～18日（木）

会場：ドイツ ノルトラインヴェストファーレン州 デュッセルドルフ見本市会場

※新型コロナウイルス感染症の影響により、浜松市出展中止

イ Photonics West 2022（光・電子） ※フォトンバレーセンター対応

会期：令和4年1月25日（火）～27日（木）

会場：アメリカ カリフォルニア州 サンフランシスコ モスコーンセンター

※新型コロナウイルス感染症の影響により、浜松市出展中止

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
国内	出展企業数	21社	24社	50社
	商談成立件数	10件	47件	50件
海外	出展企業数	1社	6社	10社
	商談成立件数	0件	0件	10件

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

20 マッチング支援事業

決算額 0円（予算額 1,600千円）

＜財団自主＞

決算額 629,676円（予算額 1,222千円）

＜浜松市受託＞

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【年度総括】

本事業では、大手企業等のニーズを収集し、地域企業とのマッチングを図ることで研究開発や販路開拓を促している。令和3年度は、コロナ禍で新規のニーズを把握することが困難であったが、以前から関係のある大手企業とのWEB面談や県西部地域に研究開発の拠点を持つ大手・中堅企業との個別面談等を通じて、地域中小企業とのマッチング機会を提供した。また、企業訪問等を通じて把握した課題を解決するための地域企業同士のマッチングについても継続して実施した。既に商談成立をした案件もあり、引き続き当財団の目利き力を活かし、ニーズとシーズをマッチングさせていく。

また、販路開拓コーディネート支援として、業務委託先である経営支援NPOクラブを仲介役とし、地域企業のシーズ発信型マッチングを実施した。マッチングの実施にお

いては、単に取引先候補の大企業等を紹介するのではなく、事前に支援企業との面談を行い、企業の強みや紹介先へのアピールポイントなどを整理してからマッチングに臨んだ。マッチング面談では、製品テストや現場見学など具体的な話も出たため、次年度以降も成果に向けてのフォローを続ける。

【実施内容】

(1) 大手企業とのマッチング商談会

※フォトンバレーセンター・次世代自動車センター連携事業

静岡県西部地域（7市1町）と連携し、浜松地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）と新たに技術連携や事業連携、取引等を希望する大企業・商社・発注企業とのマッチング商談会や個別面談会等を開催した。商談会では、自動車部品・産業用機械・宇宙産業・医療機器・航空機・電子機器・環境分野等の大手企業ニーズに基づき、対応可能な技術を保有する地域企業が協業するチャンスを創出した。

また、輸送用機器関連分野を主対象に、大手メーカーなどが取り組んでいる製品開発や工程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと地域中小企業の技術・製品シーズのマッチングを創出する機会を設けた。

<令和3年度新規案件>

ア ヤマハ発動機(株)ロボティクス事業部（浜松市北区）

開催日：令和3年4月～9月

会 場：ヤマハ発動機(株)ロボティクス事業部またはWEB開催

内 容：個別面談会

形 式：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：10社 [市内] 10社、[市外] 1社

個別面談：10社 [市内] 10社、[市外] 1社

成 果：商談成立2件、NDA締結3社 ※令和4年3月末時点

イ ダイキン工業(株)（滋賀県草津市）

開催日：令和3年10月1日（金）

会 場：WEB開催

内 容：個別面談会

形 式：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：2社 [市内] 2社、[市外] 1社

個別面談：2社 [市内] 2社、[市外] 1社

成 果：協業検討中1社 ※令和4年3月末時点

ウ (株)常光 菊川工場（菊川市）

開催日：令和4年1月～3月

会 場：(株)常光 菊川工場又はエントリー企業

内 容：個別面談会

形 式：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：3社 [市内] 3社、[市外] 1社

個別面談：3社 [市内] 3社、[市外] 1社

成 果：協業検討中 ※令和4年3月末時点

エ その他、大手企業とのマッチング及び地域企業間の販路開拓や協業に関するマッチング支援は随時実施した。

<令和2年度継続案件>

ア ミネベアミツミ(株) 浜松工場（袋井市）

開催日：令和2年8月から随時
形 式：技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談
エントリー：8社 [市内] 5社、[市外] 3社
成 果：商談成立3件、NDA締結7社 ※令和4年3月末時点

イ 大成建設(株) (神奈川県横浜市)

開催日：令和2年5月から随時
会 場：地域企業
形 式：技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談 (WEB)
エントリー：2社 [市内] 2社、[市外] 1社
成 果：NDA締結2社、見積依頼1件 ※令和4年3月末時点

ウ ダイキン工業(株) (滋賀県草津市)

開催日：令和2年10月から随時
形 式：技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談 (WEB)
エントリー：2社 [市内] 2社、[市外] 1社
成 果：NDA締結2社、見積依頼1件 ※令和4年3月末時点

(2) 特定メーカー企業向け商談会 (浜松商工会議所との連携事業)

浜松地域の主要産業である輸送機器関連分野の受注拡大、更には既存技術の応用による新事業分野への展開に向け、商工会議所との連携により、特定のメーカー企業を対象とした個別商談会を実施し、浜松地域企業の販路開拓及びビジネスマッチングを支援した。商談相手は自動車関連をはじめとする県外の大手メーカーにターゲットを絞り、参加企業は三遠南信地域の企業を公募・選考した。

「三遠南信地域 新技術・新工法展示商談会」

ア シンフォニアテクノロジー(株)豊橋製作所 (愛知県豊橋市)

開催日：令和3年5月28日 (金)
会 場：WEB開催
内 容：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、WEB商談会として実施
主 催：浜松商工会議所
共 催：(公財)浜松地域イノベーション推進機構、豊橋商工会議所、
(公財)南信州・飯田産業センター
エントリー：遠州地区22社、東三河地区1社、南信州地区7社、他1社
来場数：19名 ※調達部担当者等
成 果：商談成立1件、試作依頼1件、見積依頼1件 ※令和4年3月末時点

イ THK(株) (東京都港区)、THK リズム(株) (浜松市南区)

開催日：令和4年3月17日 (木)
会 場：WEB開催
内 容：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、WEB商談会として実施
主 催：浜松商工会議所
共 催：(公財)浜松地域イノベーション推進機構、豊橋商工会議所、
(公財)南信州・飯田産業センター
エントリー：遠州地区14社、東三河地区1社、南信州地区1社
来場数：9名 ※調達部担当者等
成 果：商談成立1件、試作依頼1件、見積依頼1件 ※令和4年3月末時点

<事前講演会>

開催日：令和3年12月3日 (金)

会 場：WEB 開催

内 容：THK 社の会社概要と調達方針・技術ニーズ等について
商談会開催概要・出展申込方法について

参加料：無料

参加者：78 名（定員：50 名、申込：78 名）

(3) 浜松地域マッチング技術商談会への出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどを PR する場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチング推進などを行った。

ア 第 11 回産業振興フェア in いわた

開催日：令和 3 年 11 月 12 日（金）～13 日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

主 催：磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会

内 容：次世代技術で産業構造の転換をテーマに、広域交流による地域企業の
新産業・新事業創出を目的として、展示商談会を開催。財団は次世代
自動車センターを中心としたブースを設け、来場者に PR を行う。

出展企業：約 90 社

来場者数：2,500 名

※ブース内出展企業（次世代自動車センター会員企業）

（株）フジコーポレーション（森町）、アイテック（株）（岐阜県美濃加茂市）

(4) 販路開拓コーディネート支援（市受託事業）

優れた新商品（新製品・新技術）を持ちながら、具体的な市場が顕在化していない、販路開拓の足掛かりが欲しい等、自社単独では販路開拓が困難な地域中小企業を対象に、経営支援 NPO クラブ（東京都）等と連携を図り、大手企業とのマッチングまでを伴走型で支援した。

ア 経営支援 NPO クラブ（東京都千代田区）

公募期間：[1 次] 令和 3 年 6 月 21 日（月）～7 月 9 日（金）

[2 次] 令和 3 年 8 月 17 日（火）～9 月 3 日（金）

[3 次] 令和 3 年 9 月 27 日（月）～10 月 8 日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室 他

内 容：①支援企業の製品、技術の特徴や強みを分析
②セールスポイントを含めたプレゼン資料のブラッシュアップ
③各社大手企業 2 社とマッチング及びフォローアップ

負 担 金：1 社 30 千円

エントリー：6 社

支援企業：3 社（株）アサヒ ピー. エム（浜松市南区）、（有）アステック開発（浜松市北区）、（株）美浜工業（浜松市浜北区）

成 果：大手企業 10 社とマッチング ※令和 4 年 3 月末時点

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 2 年度※1	令和 3 年度※2	令和 3 年度
「新技術・新工法展示商談会※3」商談成立件数	一社	一社	5 社
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	3 件	2 件	5 件

マッチング件数	52 件	46 件	—
---------	------	------	---

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点

※3：浜松商工会議所連携事業

2.1 海外ビジネス展開支援事業

決算額 115,208 円（予算額 334 千円） <浜松市受託>

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性を拡張する。

【年度総括】

令和3年度は、浜松市海外展開事業化可能性調査費補助金の準備業務及び海外ビジネス展開の基礎となる知識を得るためのセミナーを実施した。また、過年度の海外展開事業化可能性調査費補助金交付確定企業への追跡調査も実施し、進捗状況の把握と必要に応じたフォローを実施した。コロナ禍で世界的に移動等が制限される中、海外展開が難しい状況が続いているため、全体的には企業の慎重姿勢が伺えるが、販路拡大、事業拡大の選択肢として海外展開の可能性を検討してもらえよう、引き続き本事業を通じた支援を実施していく。

【実施内容】

(1) 海外ビジネス展開の基礎

JETRO や SIBA などにより、産業別、地域別の海外展開の情報提供や貿易実務等の講習会は開催されているが、現在、海外展開を行っていない企業にとっては、海外展開のメリットデメリット、海外展開の手法等基礎的な知識を先ずは習得する必要があることから、入門講座を開催し、地域企業が海外展開を検討する機会を提供した。

ア 海外進出の知財対策について

開催日：令和4年2月22日（火）

会 場：WEB 開催

講 師：（独）工業所有権情報・研修館

海外知的財産プロデューサー 柳生 一史 氏

内 容：海外進出と知財リスク、海外における自社権利保護等について
個別相談会

受講料：無料

参加者：15 名（定員：40 名、申込：18 名）

個別相談：1 社

イ 海外販路開拓入門セミナー

開催日：令和4年3月16日（水）

会 場：WEB 開催

講 師：（公財）静岡県国際経済振興会 主事 水野 由香 氏

浜松市 産業部産業振興課 地域産業グループ

グループ長 加藤 健太郎 氏

内 容：海外ビジネス展開に必要な各種基礎知識等について
個別相談会

受講料：無料

参加者：8名（定員：40名、申込：10名）

個別相談：2社

(2) 海外展開事業化可能性調査費補助金（海外 FS 補助金）

浜松市内の中小企業者が、技術や製品の強みを核にアジア地域等への海外進出を目指して実施する事業化可能性調査について、浜松市が調査に要する経費の一部を補助するための準備業務を行った。

公募期間：[1次] 令和3年4月12日（月）～5月31日（月）

[2次] 令和3年7月1日（木）～8月20日（金）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者2者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2

補 助 額：上限500千円

対象経費：国内外において実施する調査委託費用・専門家への相談費用など

申請件数：[1次] 0件、[2次] 1件

採択件数：[1次] 0件、[2次] 1件

事業期間：交付決定後～令和4年2月28日（月）

交付決定額：[1次] 0円（0件）、[2次] 500千円（1件）

交付確定額：[1次] 0円（0件）、[2次] 500千円（1件）

<交付企業一覧>

[1次] ※1次公募申請なし

[2次]

（単位：円）

1	企業名	㈱ころろ（浜松市中区）	確定額	500,000
	[対象国]	インド		
	[内 容]	インド富裕層への浜松食材を含めた日本食レストラン展開について事業化可能性調査		
	[成果と今後]	ターゲット層の絞り込みやその食嗜好性、競合他社の状況、出店エリアの絞り込みなどの把握ができた。調査結果を踏まえ、今後も継続した海外展開に向けた調査検討を進める。		
計				500,000

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和2年度※1	令和3年度※2	令和3年度
海外 FS 補助金申請件数	3 件	1 件	3 件
海外 FS 補助金提案採択件数	3 件	1 件	3 件

※1：令和3年3月末日時点、※2：令和4年3月末日時点



公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation